



14年目の大転換

合唱中心のオ9演奏会へ

指揮者 山本直純氏からも激励!

初夏のさわやかな風とともに、オ14回目のオ9が始ります。総会の説明でもあったように今年のオ9の要項が決まるまでには、さまざまな動きがありました。念願であった小沢征爾の決定、そして健康上の理由での延期。一転して山本直純の決定。クリスマス・キャロルとメサイアを含めたクリスマスオ9コンサート実行の方針決定等、目まぐるしい動きの中で、変わらなかったのは、役員、団員のすべてが、質の高い音楽を望み、一年ごとに演奏の質を高めていかなければならないという使命感でした。去る5月19日に山本直純先生にNHKでお会いして、その間の説明をし、高崎オ9の歴史をお話した所、大いに共感して下さい。今年のオ9演奏会の成功のためには力いっぱいやるから、あなた達も一生懸命頑張ってくださいと力づけられました。

14年目を迎えた私共高崎オ9合唱団の現状は決して甘いものではありません。日本の社会が変革期を迎えて、職場でも家庭でも学校でも、厳しい条件が増えております。このような時に、音楽のために活動するには、強い意志の力が必要です。同時にこのような時期こそ良い音楽、本当の音楽が最も必要とされるのです。14年目にしてはじめて合唱を中心とした演奏会を組みます。練習日程も非常に厳しいものになりますが、今年の演奏会の成否こそ、高崎オ9合唱団の将来に大きな影響を与えるものになります。

団員の皆さんも今年一年、沢山の仲間と呼びかけ、練習に励み、良い合唱を作り上げることに専念して下さい。今までにない素晴らしい演奏会で12月24日の夜、音楽センターホールを盛りあげ満員の聴衆と共に、明日の高崎の文化発展のために一石を投じようではありませんか。



原稿募集

オ9ニュースの原稿を募集します。字数は400～600字程度。内容はどんなことでも結構です。原則として横書。毎週木曜日到着分はできるだけ翌週に掲載します。原稿料、掲載料は共に無料。自己PRにも大いにご利用下さい。提出は事務局迄。

5月21日に開かれた総会で1987年度の役員として次の方々が選ばれました。団員と子ども一丸となってオ9合唱団の発展に努めましょう。



1987年度高崎第9合唱団役員

団長	斉藤 民	再任	運営委員	長島 好江	再任
副団長	阿部 延	〃	〃	正木 民子	〃
〃	田中 清巳	〃	〃	松原 真介	〃
〃	〃	〃	〃	茂木 晴子	〃
運営委員	赤羽 洋子	再任	〃	福田 朋英	〃
〃	秋山 芳久	〃	〃	吉井 秀明	新任
〃	有阪 保彦	〃	〃	若井 昂	再任
〃	安藤 昌子	〃	〃	渡辺 義之	〃
〃	植原 阿佐子	新任	事務局長	上野 道昭	〃
〃	岡田 近子	〃	事務局次長	松本 茂晴	〃
〃	小林 紀子	再任	〃	〃	〃
〃	竹沢 学	〃	会計監査	伊波 泰子	再任
〃	塚越 玲子	〃	〃	正木 新樹	〃

練習時間を10分延長 時間厳守で中味を濃く PM6:30～8:40まで

5月28日午後7時より高崎市中央公民館で、オ1回指導者会議が開かれました。既に皆さん周知のとおり、今年の演奏会では、オ9交響曲のみでなくメサイヤの中のハレルヤコーラスやクリスマスキャロルとして5曲が予定されており、これらの曲をどのように練習し仕上げるかが真剣に検討された訳です。その結果、別刷の練習カリキュラムに従って行うことになりましたので、是非時間を守って中味の濃い練習にしたいと思います。時間も10分延長致しますので、ご諒承下さい。

楽しかったミニコンサート 曲目紹介

■土塩篤子(P)……リスト/愛の夢オ3番、ショパン/ノクターンより選作 ■中島ゆい子(P) & 唐沢美加子(Fl)……カール・シュターミッツ/フルート協奏曲ト長調 Op.29 ■阿部智(Br)……シューベルト/セレナーデ ■赤羽洋子(Sop)……エーデルワイス ■松原真介(Ten)……ルツィ/アヴェ・マリア 独唱 ■羽島春 & 塚越美哉(P)……4エツカーズ・ズドレー ■有阪保彦(P)……グー/アヴェ・マリア、シューマン/トロイメライ ■下田隆行(P)……ムソルグスキー/展覧会の絵より



限りなく広がるロマン

オ9の夢を現実のものへ!

〈事務局長〉 上野 道昭

倭人在帶方東南大海之中。依山島為国邑。
旧百余国。漢時有朝見者。今使訳所通三十国。

倭人は帯方の東南大海の中に在り。山島に依りて国邑を為す。もと百余国。
漢の時、朝見する者有り。今、使訳通ずる所、三十国。

これは三国志魏書卷三〇烏丸鮮卑東夷伝倭人の条、通称、魏志倭人伝の冒頭の文であります。女王卑弥呼と邪馬台国とは？ 多くの人たちが、3世紀の我が国のロマンを追う夢は限りなく広がっています。

私たち現代に生きる者が激動の社会の中で、個人の人格を忘れ、又無視されようとしているなかで、高崎オ9合唱団は14年目の夏を迎えました。

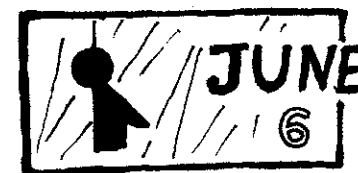
もっとすばらしい響きを！ 皆で声を合わせて奏で、人々の声と心を星空の彼方まで届けようとするベートーヴェンの合唱を少しでもよい、心に響かせたら……そしてそのハーモニーを一人でも多くの仲間と唱え、演奏会を通じ聞く人たちが歌いたくなるような共感を覚えてもらえたら……と思います。

女王卑弥呼にはせる夢と、星空に響かせようとする合唱のハーモニーの実現を夢に、今年も木曜日の夜を楽しく過せるようにして行きたい。そのためには団員一人一人が協力し合うことはもちろんですが、団の運営に積極的に参加して行くことが大切です。団費を払えばあとは大船に揺られて目的地へ着くだけ、という組織ではありません。その船の針路を定めるのも、大海原を乗り切っていく糧の力もすべて団員個々の力の集積なのです。

今年は特に、山本直純先生を指揮者に迎え、従来とは異ったオ9演奏会——すなはち合唱を主体とした曲目構成によるファンタスティックなクリスマス・イブを演出しようということです。夢とロマンに彩られた演奏会を創り上げていくために、そうして、私たちの当面の目標である、はるかドイツでの公演を夢から現実へ一歩近づけるプロセスとして、今年の演奏会の成功に全力を傾けていきます。

これだけは守ろう

練習のマナー



■ 練習はPM 6:30に始まります。

練習会場は午後6時には開けています。6時30分には発声に入ります。6時半までに行けば良いという考え方でなく、練習5分前には席に着いていたいものです。練習時間にロスがなくなれば、その分だけ素晴らしい合唱が出来上がることでしょう。

■ 各自スリッパをご用意下さい。

練習会場は土足厳禁です。各自スリッパをご持参下さい。

■ 練習中の私語は止めましょう。

まわり中の人々が熱心に練習しているのに自分たちだけのおしゃべりしている人を時々見かけます。これは非常に傍迷惑なことです。話は別の場所で行って下さい。

■ 休まないで下さい。

初めての方は特に一度休んでしまうと、その部分が最後まで覚えられなくなってしまいます。わからないようでも毎回通っていると或る日突然、自からうろこが落ちたように、すらすらと歌えるようになります。

■ 駐車場がありません。

練習場周辺に置ける駐車台数はきっちり詰めても30台程度です。所定の場所(別図)以外には置けませんので、出来るだけ、合乗や近くの方は自転車等でお出掛け下さい。また先に駐車される方は、奥の方から駐車して下さい。

■ 出席簿は自分でつけましょう。

入口の所に出席簿が置いてあります。出席した時は必ず④の印を押して下さい。

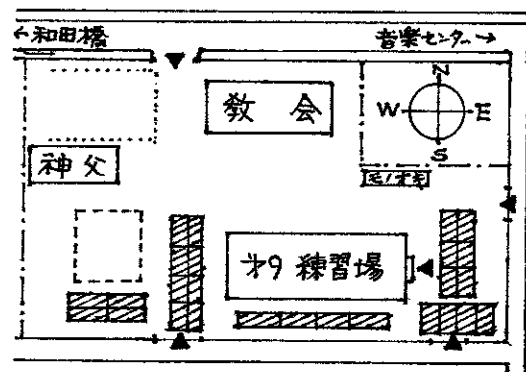
■ 早く来られた方は……

ご面倒でも、椅子を並べたり、ピアノを運んだり会場準備をお手伝い下さい。一汗かくと美容と健康が増進されます。練習が終わった時はみんなでお片付けを!

■ オ9ニュースを必ずご覧下さい。

オ9ニュースは練習の都度発行しています。この内容は、団のお知らせや運営方針などのほか、団員の意見や感想、音楽会の案内など、何れもオ9合唱団に関係したニュースを掲載してあります。毎回必ずお読み下さい。

印の場所以外は駐車しないで下さい。
▶ 入口を示す。





提言……すばらしいオ9を創りだすために

苦しみ にぶち当れ！

積極的に団運営・活動に参加しよう。

今年は未だ軟くスタートしたばかり……さてこれから、と今頃は誰もがそう思っています。《何しろ演奏会は半年も先のこと、これからやることはこれから考えればいい》と。ところが始まってしまうとこの半年間がそれこそあっと言う間に過ぎ去ってしまうのです。しかも何も手が付かないうちに――。

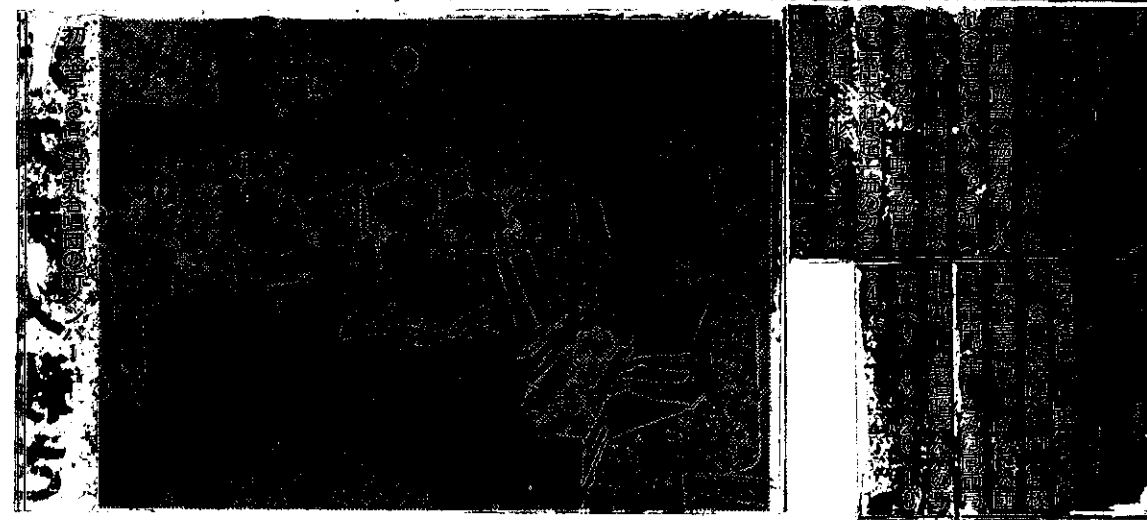
毎年々々、そんな聖戦を積み重ねながら、どうやら13年という長い年月を過ごして来たオ9合唱団ですが、その間の時の流れは私たちの予想をはるかに超えた歴史の歩みの早さでした。敗戦の中から先進諸国に「追いつき追いこせ」と一生懸命働いて、ふと振り返ってみると今度は追い越される立場にいる自分を発見して戸惑っているという感じでした。50代以上の方々は多かれ少かれ、そんな感慨を持っているのではないかと思います。

しかし、みるかえって若い人たちはどうなのでしょう。高度成長下の経済社会の中で生れた世代は物質的には不足なしというものの試験地獄にあえぎ、陰湿ないじめをかいくぐって、ふと振り向くと、そこには心の友一人として居ないことになくせんとするようなこともあるのではないのでしょうか。孤独な影をひきずったまま自殺してしまう若人が新聞紙上をにぎわすのは悲しいことです。

これからの時代を担う若い人たちが物質文明だけがこの世の幸せだと思っているとしたら、一刻も早くその殻から脱して欲しいのです。オ9合唱団には同じ目的をもって集った大勢の仲間がいます。が必ずしも足並が揃っているとは云えません。それは何故でしょうか。

権利だけを主張して、義務と責任を回避する傾向はないのでしょうか。団の活動や運営に積極的に関与することが、私たちの合唱をより素晴らしく、豊かにすることにつながるのです。そしてこのことはすべての人々に共通することです。ベートーヴェンが苦しみを乗り越えて到達した歓喜の歌は、彼の人生の究極であった筈です。私たちは、この真の歓びを歌い上げるために安易な世界より、苦悩の世界を選び克服しよう。

PM6:00よりドイツ語レッスン(来週より隔週)。
練習前の30分間で、あなたはもうドイツ語ばっかし!!





今年のソリスト決定！ キャロルメドレー曲も！！

ソプラノ **大倉**、メゾ **安念**、テノール **伊藤**、バリトン **栗林**。

いずれも 二期会で活躍

今年のソリストが決まりました。かねてから指揮者の山本直純先生にもご相談していましたが、二期会メンバーの日程の都合等も勘案しながら選ぶ必要があり、のびのびになっていましたが、次の方たちに最終決定されました。

ソプラノ 大倉由紀枝、メゾソプラノ 安念千重子、テノール 伊藤英二、バリトン 栗林義信の諸氏です。栗林さんは昨年に引き続き、高崎オ9合唱団でのソリスト出演は今回で4回目の重鎮です。他の皆さんは初めての方たちはありますが、ソプラノの大倉由紀枝さんは、一昨年のソリストに決定しながら、「おめでとう」の為、皆我栄子さんに変更になった、いきさつがあります。今年は確実に期待していた美声が聞けることになります。ソリストのプロフィールはこのニュースで、おいおいに紹介する予定です。ご期待下さい。

また現在はオ9合唱のほか「ハレルヤ」を練習していますが、クリスマス・キャロルの曲目も、山本先生から送られてきました。全部で5曲ですが、曲と曲の間はオーケストラをつなぎ、メドレーで演奏するようになっています。

曲目は ① もろびとこぞりて ② 神の御子は今宵しも ③ あいべつレヘム ④ 荒野のはてに ⑤ きよしこの夜 で 何れも混声4部の合唱です。今からではクリスマスモードというわけにはいきませんので練習に入るのは9月からになります。どうぞお楽しみに！！

社教団体に認定

以前から申請していた、高崎オ9合唱団がこの度、高崎市社会教育関係団体に教育委員会から認定され、認定証が交付されました。これにより今後公民館等、無料で使用出来ることになりました。

のど 七ヶガーデン オ9 暑気払い大会

喉を高島屋の屋上で若がえらせろ！！

夏のハイキング

7月11日(土) Pm5:30

の計画や屋空のもとで、生ビール片手に未来を語ろう

会費 男 2,000円 女 1,800円

参加希望者は いますぐ 事務局の 松本、有阪、吉井まで申込して下さい

ソプラノの新入りです。

〈ソプラノ〉 **吉田和子** 〇龍の18才〇



私が高崎のオ9合唱団というのを知ったのは、ほんとに最近のことです。先月、音楽センターにリチャードグレイグマンのコンサートを聞きに行った時に、好奇心旺盛な私はきょろきょろまわりを見まわっていて、その時みつけたのが団員募集のポスターでした。

小さい時からピアノをやっていて、音楽は人一倍好きだったけれども、どうも目覚めは遅く、演奏会とかの情報に敏感でなかったし、楽典な

んてそれこそとんでもないこと、ほんとうにうとなつたんですね。

最近では中途半端でつまらなかつた、高校の時のような思いはしたくない！と強く感じ、やりたい事いっぱいです。運よく、オ9だけでなく他にもいろいろな歌を歌うという時に入団できて、よかった。それに15回へ向けてドイツへの夢も現実化してきているという話も聞き、わくわくしちゃいます。単に歌うというだけでなく、ハイキングとか新年会とかいろいろな事をするようなので、とっても楽しみです。

私はほんとに忘れっぽくて、ぬけてしまいます。リズム感もあまりよくないし、ほんとに何もわからないので、よく指導して下さい。御歳の方や第九の先輩の方と、はやく溶け込んで、楽しくやっていきたいです。

高い山

有藤氏先生のみどり会合唱団40周年記念

演奏会で、第九の団員募集を見て、急に

〈テノール〉 **伊藤 政重** 応募する気になり、電話で申し込んだ。

なぜそうする気になったのか。その背景に前記演奏会でのコーラスとオペラを聞いて感激したからかも知れない。とすると情熱をこめた藝妓行に心を動かされたことになる。

私はささやかなコーラスに加入してはいるが、第九では浅学のため限られた歌詞ではあるがドイツ語に馴れるまで相当努力を要すると思っている。

初日の発声で馴れている方には当り前になっているのだろうが、先生の堂々たる発声に圧倒されながら個人としては極限のものを表さざるを得なかった。

第二回目練習では、6時5分前に着いたら、先生お二人が手馴れた呼吸で椅子を並べていて手を出さ余地もなかった。このような情景はちゃんとした高い月謝を払っているところには、逆にはないのではないのか。ドイツ語指導は前後を通じ70分にも及んだ。これらを通じて先生方の並々でない情熱を感じた。至高の藝妓行に仮にも触れたいと思う初心の私には、それは柳に倦びつく蛙でなく高い山であり、幼児と大学と一緒にやっているようなものかも知れないが、挑戦の意気だけに終わらせないよう遅くとも一歩一歩を、また若い人と共に学び喜びをわちあえるように出来れば、と願っている。新しいことを学ぶこと、それは未知との出会いでもある。



7月は 団員拡大強調月間

一人が一人誘って倍増へ

活気づく練習、男性集めがカギ

12月24日、高崎第9が始まって以来初のクリスマス・コンサート目指してスタートした練習も、あっと思う間もなく1ヶ月が経ってしまいました。特に今年はオ9だけでなく、ハレルヤコーラスやクリスマス・キャロルなど、従来とは違って変わったコンサートの構成です。オ9一本槍の時は、初心者とはもかく、オ9経験者は9月頃にならないと仲々出て来ないのが通例のようになって、前半期の練習は盛り上りに欠けることが多くありました。その為今年初めからすばらしい活気を見せています。

6月中に受け付けた団員は約100名ですが、総会で決まった団員200名目標に対しては、恰度半分といったところです。したがって1人の団員が1人の友人や知人、兄弟姉妹親子、親戚どんな形であれ、1人ずつ誘ってこれば目標を達成できることになります。そうすることによって、より豊かな合唱の輪が、人間同志の触れ合いが、人生の生き甲斐が、彩とりどりに創出されることになるでしょう。ベートーヴェンの「歓喜」はまさにそのような多くの人々によってこそ築かれる至高の樂園なのです。

ベートーヴェン論はまず措くとして、現実の問題にたちあえて見ると、私たちの運動を進めるとで様々な隘路があります。特に頭を悩ますのは、女性の数に比べ男性の数の少いことです。レジャーも多様化している時代ですからコーラスなどには目を向ける人がますます減少傾向にあることもわかりますが、是非団員の皆さんの周囲を今一度見渡して、男性の発掘をお願いします。なお7月を過ぎますとコーラス経験のない初心者は練習について行けなくなるとお思いますので、なるべく今月中に入団されるよう勧誘して下さい。

高崎リコーダーアンサンブル(第1回)

With コンサート

7月10日(金) PM 7:00 入場無料 中央公民館大ホール

特別出演 ソプラノ 赤羽洋子 他

歌のひろばノートをお返しします。

オ9ニュース編集部では団員の声を常に掲載できるよう、原稿ノートをお返ししています。手元にいきましたら記帳の上、事務局へお戻し下さい。

「阿部 延先生を囲む会」に参加して

<ソプラノ> 赤羽 洋子

5月30日夜、あら町の「岡源」で「阿部先生を囲む会」が開かれました。これは阿部先生が高崎市立八幡小学校長になられたのを祝いしようと、今まで先生にお世話になった仲間や音楽を通してお付き合いのあった方たちが集って開かれたものです。「高崎第9合唱団」「合唱団コールパーク」「高崎フラウエンコール」等より有志約50名が参加し、賑やかに宴会のうちに楽しい一時を過ごしました。

始めに挨拶に立たれた阿部先生は、高崎第三中で教員生活のスタートを切った時代の思い出や合唱団コールパークとの長い結び付き等について感慨深そうにそして雄弁に話されました。それから現在の三つの楽しみは、合唱、お酒そしてパチンコということと話を結ばれました。

20名近くが参加した高崎第9合唱団より、渡辺、上野、松本の各氏がスピーチを、又、女声合唱を小林先生が指揮され、松原氏と私がお祝の歌を歌い、サロンコンサートのように次々に楽しいプログラムが飛び出して、会を盛り上げました。阿部先生も負けずに「サンタ・ルチア」を独唱され元氣な所を發揮されておりました。

大いに食べ大いに飲みそして歌におしゃべりに時のたつのを忘れてしまうようでした。最後は阿部先生の指揮で50名の参加者全員で「第九」を合唱して賑やかな内におひらきになりました。音楽を生涯の友としている仲間たちの本当に気のおけない楽しい会でした。阿部先生のこれからの益々のご活躍とご健康を祈りつつ象路につきました。

じょうきき 今年もうたえる!

<ソプラノ No.31> 仁藤 恭子

みなさん、こんばんは!

私は現在、共愛学園英語科3年生です。学校では聖歌隊の隊長として毎日はりきっています。

今年はオ9をうたえないと思っていたのです。なぜなら木曜日PM7:30～エレクトーンのレッスンはいていたのです。だから完ぺきにあらめ、阿部智先生に「今年は歌えないから、先生からチケット買う…」ともらしていたのです。しかし1週間程前にエレクトーンの先生から曜日変更の話がきたのです。

「金曜日にしてほしい」とのことでした。その話を聞いたとたん、私は舞い上がってしまいました。「オ9が歌える!」と大声で叫び、郵送されてきた申し込み書をすぐに書き、翌日はルンルン気分、阿部智先生のところへとんでいき、「先生! うたえる」と言っていました。3年生なので何かと忙しい時期ですが、できる限り出席できるようにがんばります。P.S PM9:00近くに、慈光通りを一人で歩くのはこわいので、どなたか駅まで一緒に歩いていただけませんか? <駅なんていわずに前橋まで、どなたかいませんか。(編)>





団員拡大強調月間

団活動＝それが第9の生命の水

精神沙漠にオアシスを!!

水不足が騒がれている昨今、このニュースが出る頃は一帯どうなっているでしょうか。水については日本には様々な諺や格言などがありますが、何と云って「生命の水」と言う言葉ほど湯水年にひたりする言葉は見当りません。地球上のすべての動植物が水の中から生れ、育ち、進化した結果が現在なのです。しかし普段水に恵まれている私たちはなかなかその恩恵の有難味を感じません。

音楽文化についてもそんなふうに見えられないでしょうか。況してGNP世界一を誇り何不自由のない物質文明にどっぷり浸っているうち、突然旱魃に襲われたら……日本中、精神沙漠になってしまうのではないのでしょうか。そんなことにならないよう、一人でも多くの仲間をオ9に誘いましょう。その活動こそが高崎第9合唱団の大切な「生命の水」なのです。

私の第9、今日この頃の想い

〈アルト〉植原 阿佐子

団員の心の交流の場であるオ9=ニュース、毎回楽しみに拝読させていただいております。その格調高い紙面からは編集者の熱情とオ9を支え続ける諸々の息吹が力強く伝ってまいります。

先日1987年オ1号を手にした時のこと、「14年目の大転換」その文字だけが抜き出て目に飛び込んで来て、何か言い知れぬ感懐がよぎりました。と同時に激動の現代の波動をひしひしと感じたのでした。

それは又古いものへの郷愁と新しい未知への夢と期待が入りまじった、不安とも希望ともつかない一瞬の私の感傷でした。けれど厳しい現実をオ9線に立たれ運営に当たられる方々のご苦勞の程いかにありでしょう。只管感謝の他はございません。そしてお報いする道は唯一つ演奏会を成功させることで、それは取りも直さず私達の歓びでもあり、地方文化の発展につながることでしょう。総力を結集して頑張って参りましょう。〈運営委員〉

現在嫁さん候補募集中

〈バス〉黒沢 悟



ベースの中で一番大きくて目立つ男、それが私、黒沢悟です。オ9は大学の時に一度歌ったことがあるのですが、もう半分忘れかけているようです。ただハレルヤ・コーラスの方は中学の時(新島学園聖歌隊)から歌っているの、ほとんど暗譜しています。(いや、しているつもりです。)合唱は中学の時からやっているのですが、始めた時からずっとベースだったので今では合唱曲を聞いてもついベースを聞いてしまって、聞き終えてからソプラノがどんな旋律を歌っていたか覚えていないということがよくあります。一種の職業病(?)のようなものでしょうか。

月並な自己紹介というのはあまり得意でないので直接お話をしたいと思います。語り付きませんかからどんどん声をかけて下さい。それから現在嫁さん候補者を募集しております。ついでにスバルもよろしく。〈団員募集もヨロシクね! 編集子〉

一橋本憲吉さんとぼのズグチマックボリー

私と第9との出会い

〈ソプラノ〉小柴 小夜子

日本人にとって「オ9」と歌舞伎の「忠臣蔵」それに「NHK紅白歌合戦」この三つはまさに年越そばと同じものなのである。

もしかするとこの三つには日本人の「お祝い」の感情があらわれているのかも知れない。あるいは精神的ボーナスとでも云うべきであるかも知れない。

ベートーヴェンがこのシラーの詩「歓喜に寄す」を作曲しようと思ったのは1793年、そして曲が完成したのは1823年、何んと「オ9」は大作曲家が30年余もかかって作曲した大シンフォニーなのである。正式の題名は大変に長くて「シラー作 頌歌「歓喜に寄す」を終末合唱にした大管弦楽、四声の独唱、四声の合唱のために作曲され、フロイセン王、フリードリッヒ・ウラン・ベートーヴェンにより奉呈された交響曲 作品125」というのだそうです。

*

*

*

このような本と出会いそれと同じくして昨年、前橋オ9を友達より招待されたのがきっかけで、何かしら新しい人生を見出したいという希望で、雨風にも負けず、心のボーナスを求め、この日より決心しました。さすが混声! 指導者の美しい声に練習の身も忘れ、あわてて本に目を移しています。

高崎の新人が居りますのに、遠方からという暖かい はげましの言葉、先生に御紹介いただき、思いやりの心にもふれ、12月を目標にがんばりたい、こんな気持ちで一杯です。よろしくお願ひ申し上げます。〈小柴さんは中々条町からです。編集子〉



できるかな～ 悩んだ末に入団 胃の痛み押さえ

知り合いは一人もいません。新入学の時の気持ちに似ています。でも知らない中に一人がいる緊張感よりも、ここで出逢えた事の方が私にとっては、大切な現実です。

今、この文章を読もうとしている貴方の貴女!! 初めまして、清水盛子です。今回、第9合唱団に初参加させていただきます。よろしくお願いします。

始めは大きな不安をかかえての練習でしたが、1ヶ月たった今、雰囲気にも大分慣れ、やっと私でもなんとかかなりそうだ”と考えられるようになりました。なにしろ本格的な合唱経験が全くないので。合唱は好きでしたが、小学校、中学校、高等学校でほんの少ししたしなだ程度です。それがいきなり、こんな大合唱団で、世界的に有名なベートーヴェン……”できるかな～”と悩みに悩んで、上野さんに会い。 ”大丈夫! 毎週きちんと通ってれば、絶対唱えますヨ!!” その言葉を信じて胃の痛みをおさえつゝ6月4日に入団、そして何とか1ヶ月が終りました。今でも発声の時の最初の声を出す時は、すごく緊張しています。(声がきちんと出るまで安心が出来ません。) まあ肩の力を抜いて先生方の指導に従って、12月までには絶対に自信をつけて唱えるようにしたいと、気長に思っています。

自己紹介 PR

名前は先程記しましたが、清水盛子です。この名前、清水《しみず》の部分にはほぼ全員の方きちんと読んで下さるのですが、名前の盛子これはなかなかすぐには出ないようです。なにしろ 盛りそば(もりそば)、大盛(おおもり)、盛り土(もりつち)……etc. もるというので余りにも知れわたっているのです。しかし盛るの他に 盛大(せいだい)と使用されるのです。! そうなのです。私の名は《せいこ》です。清水盛子(しみずせいこ)です。お間違いないように…… ナンテ!!

名前の説明が長すぎてしまいましたね。生れは 1965・7・26。もうすぐ 22 歳になります。高校卒業と同時に就職し、今年で 4 年目になります。半導体関係の職場で、毎日クリーンルームという、ほこりの少ないきれいな部屋で顕微鏡をのぞいています。

家は安中市の磯部にあります。一応磯部温泉として名前が知られているのではないのでしょうか。夏の避暑地“軽井沢”に近くて会社の帰りに“ドライブ”に軽井沢に行こう! なんて声を夏になるとよくききます。冬はナイタースキーにも行けるんですよ。何しろ会社は PM4:20 に終わるのでから……。愛車赤のカロラII で毎週休まず通います。きっと 12 月なんて“あっ!” となっている間もなく過ぎるのでしょうかね。だから一回々の練習を精一杯頑張ります。

— 初めて第9を歌う方へ —

待たされて焦らされて……その苦しみを乗り越える

〈テノール〉 本多輝彦



歌のひろば

今年は、練習の出席率が良く、しかも素敵な女性が多いので、「独身」の私としては、大いに張合いがあるというものです。初めて『オ九』を歌う方は、不安で一杯かも知れませんが、大丈夫です。あのハードな練習に出席さえしていれば、誰でも歌えるようになります。先生方が必ずそこまで引っはうていてくれます。首に縄を付けても!?

とにかく、練習に出席することは大切です。実は、私、昨年は某 M 橋第九合唱団にも所属していたのですが、練習にほとんど出席しなかったせいか、本番での感動がまるで違いました。高崎の方が全体の出来そのものが数段上だったこともあります。しかし個人的には、練習に多く出席してみんなの声に合わせて唱うことで、自分の声もみんなの声に溶け込み、一体感があつたことの違いによると思います。それともう一つ、自腹を切つてまで、チケットを売ったことです。本番での気合が違いました。

本番で歌っている時間は、15.6 分位でしょうか。わずかそれだけの合唱の為に半年以上もかけて練習する。待たされて焦らされて、そうした苦しみを乗り越えるからこそ、私たち素人でもあの爆発的な感動の大合唱が可能になるのだと思います。すばらしいクリスマス・イブを迎える為に、これからもう休まず一緒に歩んでいきましょう。

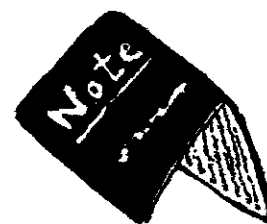
歌は若返りの薬

〈ソプラノ〉 山岸 ちよ (大15・4・1生)

私は2回目からオ9に参加しています。お勢めの帰りにちよっと寄って歌って家にかえる。そうすると一日の仕事の疲れも、精神的な悩みも消えて、顔の縦じわも少しくすくなって、落ち着いた表情で家に帰る。

私にとって歌うことは若返りの良薬でもあるのです。オ九が突破口となって堰を切った様に色々な合唱曲に挑戦したくなり、ぶっかっています。気軽な気持ちで10何年間連続して参加できたのではないのでしょうか。

これから声の出る限り(生きてる限り)歌い続けたいと思っています。仕事があり、音楽があれば人生最高です。



歌のひろばノートを回覧してます。

あなたのところへ回りましたら、何でも一言自己主張して下さい。その心が高崎オ9合唱団の運営を支えます。



8月6日の練習後に
才9大暑気払い

生ビール・生オケで交流会

暑い暑い挨拶がわりの今日此の頃ですが、それにしても先週のレッスンは酷暑地獄と見まごうばかり、お陰で夏の大入袋ならぬ「お楽しみ・アイス」が配られて、和気あいあい……でした。年1回恒例化しつつあるこの「アイス」の無料配布にありつけるのも、暑さをいとわず、まじめに練習に来ているからこそ、なのであります。

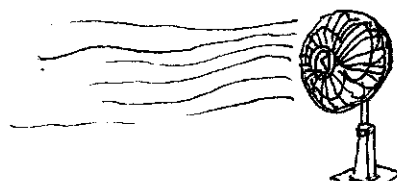
ボツと出して、たまたま運悪く、この日だけ欠席して、「今年はアイス、出なかったですねえ」などと秋口になってから、のたまわれる方も、まれにはお見受けするわけですが、広い世の中の幸、多少の運、不運は御勘弁いただきたいと事務局では考えております。ハハ。ただ、このアイスを何時出すか、タイミングの設定が非常に微妙でありまして、アイスを食べた翌週がもっと暑かったりすると、「先週より今週の方が良かったんじゃない」などと意地悪○さんにチクチク。事務局としては「立っ瀬」がありません。

そこで今年は、もっと暑くなる日がある可能性大と予測し、いつとのこと、全員でこの暑さをバツぱせようと才9大暑気払いを計画しました。

■日時 8月6日(木) PM8:30より ■場所 才9練習場(練習終わってから直ちに模稜替) ■会費 1,000円(呑まない人、呑めない人には割引考慮) ■出る物: 生ビール、やきとり、枝豆、その他 沢山、ショウチューウ、酒持込可。ジュース類は用意します。■音楽はすべてピアノ伴奏による生オケ。■演奏、歌い手が殺到する場合は順番は抽選。■その他、この件に関し、寄附、差し入れ等、大いに歓迎します。いや期待してまーす。■申込み、ご予約は事務局へ ■お弱いお方は自宅まで宅配便があります。

高崎第9合唱団 '87 第1回運営委員会開催通知

■日時 1987年8月8日(土) PM 6:30
■場所 高崎市中央公民館 2F 第1集会室
■議題 来年度の演奏会計画 ほか。



レトロに傾斜

〈アルト〉植原 利子

明治から大正の初期輸入され、幻の名機と言われた蓄音機(クレデンザ、ルミエ、クロックス)で、春宵のひと時私は、SP盤レコードコンサートを楽しんだ。

宵待草、ケンタッキーの我家、君よ知るや南の国 etc……を三浦環や藤原義江の声で、その夜肌に粟を生じる感動をもって聴いたのである。

当時の録音技術の悪さを彼等は音色でカバーする為により更に気を遣ったという。比較すべきもないが、現代は多少の悪声は機械がカバーし、早CDを越すDATという音質の高さでは極めつけという物も出ている。

一般の人には分らない微音も聞き逃さぬ、という研ぎ澄まされた耳が、日本製精密機械は今では世界一の性能だと言う。

環さんや義江さんがタイムスリップし、今のCDやDATを見たら仰天するのではなかろうか。だが歌唱法も現代とは違う明治のアリアも、どうしてどうして捨て難い。

私は今、彼等が生きた時代背景や人間像まで知りたくなって、折を見ては本屋を覗いています。余談ですが、事務局よりまたお話が合ったとしたならば、次回人間三浦環を記してみたいと思います。

春宵のルミエに針触れ義江来る

SP盤 済ゆる針より環 顕つ

歌姫やクレデンザで聴く夏の蝶

利子

苦しい時の人だのみ

〈バス〉清水 匡

コーラスをはじめたのはもう20年以上前になるのだろうか?

18歳の時、町公民館で社会教育活動をはじめ、いくつかの部門があり、その一つにコーラスがあった。

全員で10名位だったけれど良き指導者に恵まれて、けっこう楽しく発声していました。男性はいつも少く女性に負けていたけれども、男同志の連帯はそれだけ強まったようです。

今回は初めての外国語ですが、やはり状況は同じような感じがしています。言葉がわからない者としては、耳で知ってゆくしかないの、同じパートの者が居ないとどうしようもない状態です。

まだ自分だけでは声は出ませんが、事務局長が「普通の人なら12月には大丈夫です」と言っているのを信じて続けたいと思います。バスで自信のある方、私の近くへ来て大きな声をお願いします。



みんなで行こう

直純先生がやってくる!

9月6日NHK「名曲コンサート」の公開録音に来高

来る9月6日(日)PM4:00~6:00、NHKのFMシンフォニーコンサートの公開録音を行うため、山本直純先生が音楽センターにやって来ます。このコンサートは高崎市文化事業団、NHK前橋放送局の主催で行われる「NHK名曲コンサート」ですが、今年の第9の指揮者である山本直純先生がどんなタクトを振るか、第9合唱団の団員としては是非見ておきたいところです。オーケストラは東京フィルハーモニーオーケストラです。

入場整理券を手に入れる方法は往復ハガキで(返信面に住所・氏名・行事名〈名曲コンサート〉と明記のうえ)8月8日(土)までに高崎市末広町23-1高崎市文化事業団までお申込み下さい。入場整理券はハガキ1枚につき1名となっておりますので、家族揃って行きたい方は、人数分だけ往復ハガキを出して下さい。

第9合唱団としては、山本先生に時間をとっていただき、コンサート終了後は是非お話を伺いたいと考えています。正式に諒承が得られれば、又このニュースでお知らせいたします。

なお山本直純による「クリスマス・キャロル・メドレー」の楽譜も向もなく出来上りますので、この際、団員募集にも一層の拍車をかけるようお願いいたします。

第8回草津国際音楽アカデミー & フェスティバル

8月30日(日)の高原 草津へ

みんなでクロージング・コンサートを聴きに行きませんか

カンナビヒ：ヴァイオリン・チェロのための協奏交響曲へ長調

モーツァルト：協奏交響曲変 ホ長調K.297b

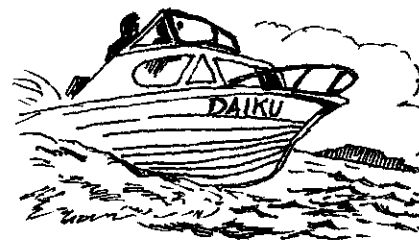
交響曲第38番「プラハ」ニ長調K.504

参加費 全席自由：至3,000(預 ¥1,000) プラス脚代

【問合せ先 テノールの松本、吉井またはベースの有阪】

感動できる音楽 = 合唱

〈テノールNo.9〉永井 克彦



歌のひろば

みなさん、こんにちは!!

私は現在、高松市の高崎郵便局に勤務し、郵便物の区分け作業に励んでいます。合唱経験は、県内の高校生などで編成した、58年の国体の式典合唱団員(私は当時、富田高校2年生でした。)として行ったこと

しかありませんが、それを機に「合唱が感動できる音楽であることを知り、好きになりました。

私は、昨年の10月神奈川県横須賀郵便局から田舎へリターンすることができました。当時、横浜の寮で生活していたので、横浜の合唱団に入りたかったのですが、毎日がとても忙しく音楽を行う時間はとれませんでした。自宅に戻ったら、合唱団に入って活動したいと思っていたので、富田高校時代の担任だった松原先生に相談したところ、先生が第9合唱団の指導をされていることを知り、入団してみようと思ったのです。

仕事上、夜勤があるので、それ以外の練習日は皆勤にしようとはりきっています。楽符もまともに読めない私ですが、みなさん、よろしく!!

5年前の感動をいま

〈アルト〉中村 玲子

皆様はじめまして、今春、めでたく短大に入学し、この高崎第9合唱団にも入団しました。不思議なことに私が入団して大喜びをしていた高校生の男の子がいたのです。その男の子は自信たっぷりの口調で私に「中学生でしょう?」と聞くのです。(確かに頭の中は中学生かも知れないけれど)一応「大学生」と答えたらしゃがみ込んでガッカリしていました。

何故大喜びをした後、ガッカリなのか……。それは今まで、その男の人が一番年下だったけど「自分より年下の人が入団してきたからこき使われなくてすむ」と冗談で言っていました。考えてみれば、その人が間違いにしても、こういうことは私にとって初めてのことではなく、中学3年生の時も、小学生に間違いされたのですから、無理もないのです。(別に根にもっている訳ではないので御心配なく……)

ところで、私は中学2年生の時、友達と群響の会員となり、毎月定期演奏会を拝聴していました。そして12月に第九にも……。合唱を聞いているうちに不思議と体が前にのりだし、引きづり込まれた感じがしました。そして自分自身も唱えたらどんなに素晴らしいだろうと思い、あれから5年後の今春、入団した当日、しどろもどろではありましたが唱てみたらあの感動が蘇活し、私も今年から唱えられるんだと、実感しました。12月24日の感動を他の人達にも味わっていただけるように頑張りますので、皆様よろしくお願ひします。



汗の結晶で真の歓びの歌を

団員拡大にもう一汗かこう。

全身から玉の汗での練習。今年のサ9レッスンも今日で10回を迎えました。第九の苦しみの一つに、暑さの中での練習があります。毎年の事ですが、この暑さの中での喜びの歌が？あるか！と云いたくなるような暑さです。

おおよそ星空のみなさんに向って人間の喜び……なんて気分とは程遠い苦しみと云えるのではないか。しかしこの苦しみは、練習後のビール？いや年末の演奏会をより感激の深い演奏会に創り上げる為の努力に化ならないのです。これから登山でいう、いわゆる3合目です。年末のより深い思い出を作るため、あと数回、暑さを喜びとするための練習をしましょう。

8月6日、立秋も真近かに近づいています。高原では秋の気配が里に降りて来る準備をすませています。喜びの合唱もそろそろ気分が出て来たのではないですか？ハレルヤもどうです。年末のブラボーの声と拍手が聞こえてきませんか？汗の結晶を皆で作ろうではありませんか。〈事務局長・上野道昭〉

現在団員112名

団員募集に全力を！

7月31日現在の団員数ですが、団費未納者は含まれていません。未納者はできるだけ早くお納め下さい。

高崎フラウエンコール 第6回定期演奏会

指揮
ピアノ
阿部 純子
大河原 吉田
延子 佐智子

と き：1987年9月12日（土）PM6:30

と ころ：高崎市文化会館ホール 赤羽 楽器 ☎0273 (22) 4497

入 場 券：¥1,000 お問合せ：赤羽洋子宅 ☎0273 (22) 0996

学生時代に度った気分で

〈ソプラノ〉武者久美子

結婚後十数年、音楽とは全く無縁の毎日でした。というのも大学時代、自分にはプロになる素質も才能も強靱な精神も皆無だということがはっきり分かったからでした。以来安易なメロディーは口ずさむことはあっても本格的な歌唱などとはほど遠いものになりました。

5年程前に魁石に戻った時、友人の誘いで「第九」の演奏を聞き、とても感動しました。自分の中で眠っていた何かが呼び起こされた感じでした。このまま何もせず音楽に一切係わらないで過ぎてしまっていたのだろうか？以来私の脳裏には常にそんな疑問が去来していました。

ある時、ふとしたきっかけで有藤邦枝さんと出会い、熱心に勧められて、歌うなら今しかないと思い入団しました。それから、毎週木曜日が来るのが待ちどろしくて、楽しく通っています。学生時代のように初歩から忘れていたことを少しづつ思い出してやっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

こんばんは。テノールの松本博嗣です。

では簡単な自己紹介をいたします。

★生年月日……S45年7月8日（※17才）

★星 座……蟹座（やくざではありません）

★趣 味……アマチュア無線、音楽鑑賞（特にポール・モーリアとかリチャード・グレイグ・マンなどが好きです）

まあ、こんなところでしょう。もっと知りたい方は、直接聞いて下さい。え……私の趣味の中で“アマチュア無線”というのがありました。そのことについて少々お話しします。まあ、だいたいの方はご存じだと思いますが、ひとりで云えば遠くの人と話しができることです。しかし、やっぱりいいことに、車と同じように「免許」がいるのですね……。でも最近試験が簡単になったので、小学校1年生でも合格する例が多数あります。

これがまあ、やり始めるとやめられなくなるんですね……。ぜひ皆さんも始めてはみませんか？手取り足取りご指導します。

♡最近ピアノを始めましたが高校から始めると、指が思うように動いてくなくて、こまっています。ピアニストの方々、良きご指導願います。

では短かくてまとまりのない文章でしたが、暑さに負けず、楽しく合唱しましょう。4649!! 《良きご指導はタツツリ月謝を出す覚悟が必要です。編集子》



第1回運営委員から

音楽文化の担い手としての自覚と責任を

クリスマス演奏会成功に全力を!

8月8日(土)PM6:30より高崎市中心公民館第1集会室において、今年度初の第1回運営委員会が開かれました。これは前回の練習で恰度1/3に当たる10回の練習量消化を踏まえ、今後の運営の具体的指針と来年度の展望を話し合うためのものです。

もっとも身近な問題として、今年の演奏会を成功させるには、現在の状況から、どんなことをなすべきか、が活発に討議されましたが、結論的には組織として次のことを徹底して行うことになりました。

1. 団員の拡大 = 第9合唱聖歌者の掘り起しを行い、知り合いの人は直接声をかけて団員になって貰う。事情によって参加できない、という方についてはチケットの販売依頼などを行う。(積極的アプローチ)
2. 財政責任の自覚 = 第9合唱団はチケット売りがあるので嫌だという人がいるが、私たちの活動は、何処からも財政援助がある訳でなく、財政基盤が失われると即、第9解体となる危険をはらんでいる。この伝統ある音楽文化運動を維持するため、各団員個人が財政に対する保証責任を自覚し、定められたチケットの消化を、完全に行う。(団員の義務と責任)
3. これから後の演奏会では、第9と他の合唱曲をセットとして行い、混声大合唱の魅力や楽しさを市民にアピールする。(合唱中心のプログラム)
4. 15周年記念イベント、ドイツ公演については、具体的条件を整える。(公演先、期間、費用など)

このほか、上記のことに関連して、こまかい討論も行われました。例えばチケットの価額にしても、昨年通り据え置いて、頒布枚数を多くするのか、至費の増嵩分だけ値上げすべきなのか、チケットはノルマ制が必要、などかなり突っ込んだ話し合いとなりました。しかし何れにせよこれらの事は、先ず団員ひとりひとりの理解が不可欠であり、機会ある毎に団員に対しキャンペーンをしていくことになりました。皆さんのご意見を近くの運営委員や事務局、編集子まで遠慮なくお聞かせ下さい。

歌のつづり



スリーナイン

9・9・9 のめぐり合せ

<バス No.9> 清水 喜臣

練習にはじめて参加したのが7月9日のこと。団員番号としていただいたのがバスパート9番。団員番号とこの日の日付が一致していることから一冊のノートを手渡されました。何かわからないままにありがたく頂戴したところ、同行の清水匡さん(バス)が「書いてくるんだよ」と耳うちしてくれました。新入団員には、プレゼントがあるのだと勝手にきめこんで、ひそかにほくそえんでいたのに、一瞬にしてうらぎられたような心境に追いやられてしまいました。(本当は、そんなことはありませんが。)

第9合唱団に参加した日が9日で、バスパート9番という団員番号。すべてがすばらしいめぐり合せのような気がします。せつかく与えられたこの機会ですので、大切に育てていきたいものと思っています。今後ともよろしくお願ひします。(しみずきおみ)



暑さもののなわ 生ビール いっき!

8月6日、レッスン終了後、練習会場がたちまち、ビアホールに早変わり。約40名の団員が一斉にテーブルを並べ、田中副団長の乾杯の音頭ももどかしく、生樽のビールをイッキに飲みほしました。

植原阿佐子さん自家栽培の枝豆、俣田さん手作りのきゅうりのお新香、小沢さんからの中之島の地酒「燗燗」、井上さんの金一封、そして淡島さんからはバック入りの「生そば、うどん」が各人に配られ、差入れの多さに、幹事も顔色なし、といったところでした。淡島さんの家は四ッ屋町の老舗「生そば 角島」です。お陰で飲む方にも拍車がかかり、再三幹事をして生ビールの調達に走らせる仕儀と相成りました。

歌はもちろんピアノ伴奏付、松原先生18番のカンツォーネに阿部先生もハッスル。予定をはるかにオーバーしてPM10:00、成功裡にお開きとなりました。次回を楽しみに!

第26回

渡辺美和子運営委員の愛蔵カセットに出演します。ご声援下さい。

郷土出身

新人紹介演奏会

とき 1987.9.16(水) PM6:30

ところ 群馬音楽センターホール

渡辺 美和子(ピアノ) 高崎市江木町

“水面を歩むパウロの聖フランシス”

整理券 一般 ¥500

学生(高校生以下) ¥300

主催: 高崎市民音楽連盟

後援: 高崎市教育委員会



日本のアーサー・フィードラー

指揮者 **山本直純**

作曲、著書など多岐

9月6日 来高!

1932年、東京生れ。亡父直忠氏より幼少の頃から音楽教育を受け、自由学園から東京芸大作曲家へ入学。のち指揮科へ転科。渡辺暁雄氏に師事。'58年卒業と同時に作曲の方へ進む。すぐさまテレビ、ラ

ジオ、映画など各分野で特殊な才能を発揮し、またタレントとして活躍の場を拓ける。指揮者としては殊に夏のウィット・コンサート・シリーズでオーケストラ界に大評判を呼び起した。'72年7月に新日本フィルを結成、その指揮者団の幹事となる。

全国PTA協会推薦番組にもなったTV番組「オーケストラがやって来た」で10年間にわたって音楽監督をつとめ、そのユニークな企画、ウィットに富んだ解説など好評を博した。'73年には「実業の日本社」からTVと同題名の本を、また'75年には「僕の名曲案内」を出版、ベストセラーとなった。

'74年10月24日、ニューヨーク国連デーコンサートのための国連委嘱作品「人」を作曲。日本大鼓とオーケストラの組み合わせによるこの曲は、パリ、ロンドン、ドイツ各地でも引続いて演奏され、熱狂的な聴衆の拍手で作曲者は何度もステージに呼ばれた。'79年7月、80年と日本人として初めてボストン・ポップスを指揮。当夜はジャパン・ナイトとタイトルされ「日本のアーサー・フィードラー」と呼ばれた山本直純の指揮ぶりに超満員の聴衆は歓喜の喝采を送った。

代表的作品として「和楽器とオーケストラの為のカプリチオ」、八重奏曲、合唱組曲「田園我が愛」等、また映画「寅さんシリーズ」、NHKTV「ロマンス」などクラシック作品、映画、TV、ラジオ等数多い。著書としては'83年3月旺文社文庫より「オーケストラがやって来た」、「チャルメラ協奏曲」、'84年5月K.K.ベストセラーズより「鬱(うつ)のとき何を聴くか」を出版。高崎第9の指揮は初めて。

団員才2次募集

但し合唱経験者を主体に

夏休みも間もなく終りに近づいてきました。9月の声を聞くといよいよ芸術の秋のシーズン入りです。才9合唱団の昨年度団員を中心に、眠っている団員に一声かけ、今年の演奏会が成功するよう、団員の拡充をはかって下さい。

長あ~~~~い目で見えて

<ソプラノ> 神 祐美子



歌のひろば

私の名前は「神 祐美子」ジン・ユミコです。高崎ではあまり聞かないこの苗字の為にたいていの人は一度で覚えてくれます。この苗字、男の人ならカッコイイかも知れませんが、一応これでも女性です。「男の子向き」みたいなこの苗字が気に入らないのですが、印象が強すぎてみんな苗字の方で私を呼ぶんです。

「名前がマイナー」だなんていうにくらいしい奴もいますが、太陽もビックリのあっかるーい性格でカバー。もし気が向いたら下の名前で呼んで下さいね♡(顔と名前的一致しない方。8/6の才9暑気払いに黒いワンピース着て、酔っぱらって大声でハデに騒いでいたあのとんでもないのが私です。♡)

一見高校生ですが、実はこれでもれっきとした社会人。高崎の駅ビル、モンレーで店員やってます。1Fの直営店(お菓子屋)なので見かけたら声をかけて下さいね!

才9のほうは去年入団。都合で去年はアルトにいましたが今年こそソプラノ。しよっちゅうとちりますか、まあ長あ~~~~い目で見守って下さい。

★生年月日: S. 42. 8. 11 しし座。(プレゼントの受付は年中無休です)

★血液型: O型 (見てわかるでしょ?)

★身長: 162cm

★体重: ……。(持ち上げてみれば?)

★趣味: 落書き(「いい年して」と言わないで……)

★この世で一番好きな人: 私♡

★二番目に好きな人: もしもしたらあなたかも知れない?

★一番嫌いな人: きっとあなただ!! (ウソウソ!!)

★あの世で一番好きな人: 100年後の自分だと思う。(生きてたりして……)

★特技: これからつくります。(こちらこそ長あ~~~~い目で……)

毎度 おちやけてる私を どおーぞ よろしく。

第9暑気払会計報告 (8・6)

収入	支出	
会費 33名分 32,500	おつまみ・雑貨 10,253	
(半人前が1人いました)	生ビール・ジュース 20,940	
寄附 1,000	おすし 4,900	
合計 33,500円	合計 36,093円	

(不足分 2,593円は団会計より補助しました。)

今回の才9暑気払いに際しましては、沢山の厚意、差入れ等大変有難うございました。楽しい暑気払いが出来、事務局としても大満足です。(幹事・松本誠)



今年のソリスト紹介(I)

SOPRANO

大倉由紀枝

国立音楽大学卒業。東京音楽大学大学院修了。
古田美代子、柴田喜代子、柴田睦隆、ニコラ・ルッチに師事。
1978年、第13回民音コンクール声楽部問題 1位入賞。
1979年、イタリー留学。ミラノでグァリーニ女史に師事。
1981年、藤原オペラ「カフレッティ家とモンテッキ家」のジュリエッタでデビュー。「ジヤンニスキ」のラウレッタ、「フィガロの結婚」の伯爵夫人、「コシ・ファン・トゥッテ」のフィオルディージ、「ホフマン物語」のソプラノ 四役などを演じ好評をえている。

コンサートに於いても、小沢征爾指揮によるマーラーの「復活」(交響曲第2番)、「嘆きの歌」やハイドンの「天地創造」、ヘンデルの「メサイア」、ヴェルディの「レクイエム」ベートーヴェンの「交響曲第9番」など数多くオーケストラと共演している。二期会会員。

MEZZO

SOPRANO

安念千重子

東京芸術大学卒業。柴田睦隆、宇田敏子、佐々木成子に師事。
1960年より1965年までヴォーカル・グループ「クール・アベユ」のメンバーとしてNHK TVをはじめ、ラジオ、テレビ、全国各地での演奏会に活躍。その後ながら家庭にあったが1973年より演奏活動を用。カウレリア・ルステカーナのルチア、

「ハルカ」のソフィー、「ボッカチョ」のイザベラ等を全て1977年二期会公演のオペラ「蝶々夫人」のズキで絶賛を博し、続いて1978年「ちゃんちき」(田伊玖磨作曲)の再演では、再出演者にまじり唯一人の新しい出演者として「おかわ」の役を演じ重責を果たした。

その後1980年の「虎月傳」の母親、1981年「葵の上」の照口上、「唐人お吉」のおせん婆、「香妃」の孝聖憲太后、1983年「カウレリア・ルステカーナ」のルチア、「天守物語」の舌長姥など創作オペラを中心に活躍するほか、「第九」などのコンサートのソリストとしても実績を重ねている。1979年度ジローオペラ賞を受賞。二期会会員。

音楽には愛が……

〈アルト〉 高畑由美子



歌のひろば

S42, 8, 31 生。女, A型, 残念ながら乙女座なのです。今年めでたく20歳というのにまるで子供な私です。(中学生ではありませんからね……フンフン) ただいま、専門学校の2年です。来年はめでたく卒業して就職して社会人です。だから、今とてもいそがしい毎日です。

どうして、この第9合唱団を知り入団をしたかという。高校の時にコーラス部に入っていて、その時の先生が「中島ゆい子先生」だったんです。それでさそわれて、最初は興味だけで入団したのですが今は楽しくてしかたありません。

私は小さいころに音楽を知りまして最初は4歳のころで、ピアノを習っていました。そのころからやはり音楽が好きでたまらなくて、今にいたっているわけで、やはり音楽なしでは生きていけないと思います。

音楽には言葉があり、意味があり、説明があり、愛があります。

誰にも自分で想っていた音楽があると思います。私は映画の中の「サウンド・オブ・ミュージック」が一番想っていた大好きな音楽です。(映画も) その中のやはり「エーデルワイス」「ドレミの歌」「すべて山に登れ」etc……私の心の音楽です。もちろんベートーヴェンを忘れてはいけません。やはり「交響曲第九番」ですね。一番力強く心の底で聞こえてきますもの。あと「運命」これも代表的な作品で音楽です。

こんな考えを持っている私です。けど、これからがんばって、一生音楽とつきあっていきます。アルトの皆さん、それに、他のパートの皆さん、これからどうかよろしくお願いします!! きらくに声もかけて下さいね。〈カット絵は本人が画いたものです。編集部〉

残暑をふきとばし快適に練習する法



暑い暑い真夏のレッスンも今日でおしまい。来週からは涼風のたつセプテンバー、せめてそう思いながら、残暑を克服しましょう。練習するのは「クリスマス・キャロル」に「ハレルヤ」、雪の降る情景を思い浮かべながら歌えば、足元からゾクゾクと冷気が感じられるのが不思議。それでもなおかつ汗の止まらない方は、暖房のきき過ぎ。省エネの為、ストーブの火を消しましょう。何? まだ暑さがあさまらない! そういう方はとんとん脱いで頂きましょう。あいあい、そんなに脱いじゃって、とてもまともに見ちゃアられねえ。要は練習に対する気持、ココロの問題なの。快川和尚の「心頭滅却すれば火もまた涼し」ワカッ?



今年のソリスト紹介(Ⅱ)

TENOR

伊達 英二

国立音楽大学卒業。中村義春、久岡昇、田口興輔に師事。二期会オペラ研究生の時、昭和55年度文化庁国内研修員に選ばれる。

すでに多くのコンサートに出演し経験を重ねており、1981年秋に小沢征爾指揮の新日フィル定期演奏会「サロメ」

(R. シュトラウス)にはユダヤ人を歌い、又、オペラでも同年7月の「マイスタージンガー」(ワーグナー)で徒弟の一人に選ばれ、1983年藤原歌劇団「マハゴニー市の呉亡」のジムを好演、1984年10月「椿姫」(ウエルテ)のガストンを歌い、1986年「こもり」のアルフレッドにも好評を拍し今後の活躍が期待されている。二期会会員。

BARITONE

栗林 義信

東京芸術大学卒業。矢田部勁吉、柴田睦陸に師事。1956年、音楽コンクールオ1位受賞。1957年、文化放送音楽賞受賞。1958年、イタリアに留学。ウイオッティ国際音楽コンクール金賞受賞。毎日音楽賞受賞。

1961年帰国、全国にわたる多岐の演奏活動を行う。又、ソ連、中国、東南アジア諸国でもオペラを歌う。1973年、毎日芸術賞。1976年、オ7回サントリー音楽賞受賞。1982年、オ32回芸術選奨文部大臣賞受賞。

これまで「トスカ」、「椿姫」、「リゴレット」、「オテロ」、「ドン・カルロ」、「蝶々夫人」、「夕鶴」など20に余るオペラの主役をレパートリーとし、又、「交響曲第9番」(ベートーヴェン)などで全国主要オーケストラと共演している。二期会会員。

歌のひろば



ノートが行方不明になっています。お手持ちの方は至急事務局へお返し下さい。このノートは団員の心と心を結ぶと共に皆さんの貴重な意見を運営に反映するノートでもあります。全部で5冊、迷宮入りにさせないで!

9月から練習のカリキュラムを手直し

密度も濃く練習ピッチも早める

ドイツ語の発音は意識的に捉える

8月27日の練習が終ってから、臨時指導者会議が開かれました。これは今までの練習過程から、今年の演奏会までの見直しについての内容チェックを行ったもので、それぞれの指導者の意見交換がありましたが、練習計画の一部を変更して、内容の充実をはかるように進めていくことで意見の一致を見ました。

特に今年は、今までと違って第9だけではなく、ハレルヤ、クリスマス・キャロルも演奏するので、指導もさることながら、団員の取り組みも気持ちを引き締めてかゝらなくてはなりません。当然練習時間は限られている訳で、効果的な成果を得るためには、練習開始時間の厳守が先ず挙げられます。個人的事由はいろいろあるかとは思いますが、合唱は人の集りです。自分だけが歌えるから、何時行っても良いと言うものではありません。本来は6時30分には全員が集って、一斉に練習が開始されてこそ、本当に内容のある合唱が出来上がるのだと思います。只、歌うだけでなく、芸術の香り漂う素晴らしい演奏会を創り上げる為、団員一人一人の奮起をのぞむものです。

これからの練習計画

9月10日★	
17日	・練習時間を守る
24日★	・ドイツ語の発音は意識して……
10月1日	
8日★	・ハレルヤ、キャロルも息を抜かずに……
15日	
22日★	・休まずがんばる。
29日	
11月5日	
12日	・だんだん寒くなるので風邪に注意
19日	
26日	・パート練習はSop-Alto 合同 Ten-Bass 合同 も時々行う。
12月3日	
10日	
17日	
24日	本番
26日	望・忘・ボーネン会

★EPの日

PM 6:00 ~ 6:30	初心者を対象に発音の練習
6:30 ~ 6:45	全員で発音練習 (発音を大事に考える)
6:45 ~ 7:05	発声練習 (これがないと歌にならない)
7:05 ~ 7:55	パート練習 (歌えない所は遠慮なく去って)
7:55 ~ 8:05	休憩 (声を休める。暴れない!)
8:05 ~ 8:40	全体練習

無印の日

6:00 ~ 6:30	コミュニケーション。(沢山の人と仲良く)
6:30 ~ 7:00	発声練習
7:00 ~ 7:50	パート練習
7:50 ~ 8:00	休憩
8:00 ~ 8:40	全体練習

11月以降は全体練習を主体にしたまとめに入ります。

但し11月12日、26日は6:00~6:30 発声練習があります。曲の仕上がり状況によっては再度計画を変更する事もあり得、指揮者レッスンはなるべく木曜日に依頼していますが、オケ合せについては他の日になることが予想されます。



初演から150年目に始められた高崎第9

団員拡大に今一步の努力を

より高い音楽文化めざして

高崎第9合唱団が結成されたのは1974年(昭和49年)のことである。今年が第14回目の演奏会だから逆算すれば、誰にでもすぐわかることである。この1974年と「第9」とはどんな関りがあるのか答えて下さい、と衣われても突差に返答出来る人は、あまり居ないのではないだろうか。

1974年5月7日はベートーヴェンの「第9」の初演からちょうど150年目に当り、その年の12月9日に高崎市で初めての「第9演奏会」がもたらされたのである。以来浮沈を皇ねながらも一回も休むことなく、続けられている。

当初は300名を超す団員を擁したが、8年目には80名を数える程に減少だが、10周年記念イベントとしてN響の招へいに成功。この時の330名余の団員をベースに、今日までの進展がある。しかし団員数は150名程度に終始し、総会目標の200名確保には今一步届かない。

今年は過去の演奏会パターンと訣別し、演目の中心を合唱主体に取り組み、日程も(土、日)からウィークデーへ、更にクリスマス・イブと異色づくめのプログラムである。したがって、今年の演奏会の成否は、これからの高崎第9の方向性を占う試金石となる。幸い今年の練習は今までに見られない程台熟化している。この力を団員の拡大や、チケットの販売にも大いに発揮し、地方の音楽文化の灯を、より高く掲げよう。

第8回 芸大同声会コンサート

1987・9・26(土) PM. 6:30

高崎市文化会館ホール

一般 1,500円

学生 1,000円

主催 東京芸術大学同声会群馬県支部

後援 群馬音楽協会



ベテランにくっついて

〈アルト〉 俣田美佐子

今年入団致しました俣田美佐子です。実は昨年11月から練習させていただきました。今年の演奏会のため少しでも早く覚えようとテープを購入し、ベテランの人にくっついてまぐりこんでいました。

大町先生のレッスンの時、アルトにまだ暗符していない人があると指摘されたのは私だったのです。ご迷惑をおかけしました。

残念ながら舞台は断念しましたが会場で感動していました。来年こそは私もと心に決めて……

若かりし頃取場の合唱団に籍を置き、毎日お昼休みに歌っていました。楽符は読めない、声は出ない私は春夏秋冬のレクリエーションにつられて歌っているうちに合唱の楽しさに気付きました。キャンプの時、川面の霧につつまれ私達のハーモニーもまんざらでもない感激し、先輩のアパートに集まり、クリスマス・キャロルを歌い、参加する事に意義のあったコンテストも今では大切な思い出です。

子供が小さくて外出もままならない頃、第9の記事を新聞で読み、私もいつか必ず……と思っていた事が実現し、幸せです。休まず出席すれば歌えるというお言葉を信じてがんばっています。時々皆さんの美声に聞きほれて自分の出る所を忘れたり、音程に自信のない所もありますが、又ベテランの人にくっついて12月までには自信を持って歌えるようになりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

第9とは別話ですが……

〈アルト〉 4年目 阿部由紀子

以前バレエを習っていたせいもあって、月2~3回程東京まで足を延ばしていろんなバレエ団の公演を観に行っています。この間は太田の山本礼子ジュニアバレエ団の団員中村みおりさんの帰国記念公演に行ってきました。中村みおりといっても矢口っている人は少ないと思いますが、実は彼女は昨年のローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞を取った人なのです。(新聞にも出たので御存じの方もいらっしゃるのでは……) 彼女の踊りは日本人としてはスケールが大きく、森下洋子以来の大器だと言われています。3年前の全国舞踊コンクールと、全日本バレエコンクールでも1位を取っています。その他団員の渡部美咲さんも昨年の全国と全日本で1位を取っています。地方のそれも群馬のバレエ団で2人も大器がいることはとってもたのしいことだと思います。これもひとえに指導者の指導が秀れていることの現われだと思います。私は今、持病のゼンソクのため、激しい運動は出来ませんが、その分第9の方をがんばりたいと思います。皆様よろしくお願い致します。





今年の入場料 — 昨年のまゝ据え置き

一般 3,000円 高校以下 2,000円 (当日 ¥3,500
¥2,500)

責任制で一人12枚消化を！

先週の練習後、才2回運営委員会が急座開かれました。これは9月6日、NHK FMコンサートの録音ため来高された、山本直純先生と才9合唱団の懇談会の際、山本先生から、「ポスター、ちらし等の宣伝は早急に始めた方がよい。私も11月には講演のため、高崎へ来るし、それまでにも指揮者レッスン等で来高するので、あらゆる機会に私自身も宣伝したい。」という意を受け、ポスターなどの作成にあたり、今年度の入場料を決定するため開かれたものです。

既に総会で本年度予算が決まっていますが、これによればチケット収入500万円を計上しています。昨年並みの一般3,000円ベースとすれば1700枚は売り上げなければなりません。入場料単価を上げるか、安い価格で1人当りの消化枚数を多くするか、の選択が議論の中心となりました。

その結果、入場料は昨年と同じに据え置き、従来の1人10枚消化を12枚にし、消化責任制とすることになりました。

私たちが毎年才9演奏会を続けて行く為には、この演奏聖賢を自分たちで捻出負担しなければなりません。団員一人一人が財政責任も均等に負わなければ、才9演奏会は高崎から消えて無くなってしまおうでしょう。そういう意味で、チケット販売の成果は、演奏会の成否とも重大な関わりを持っているのです。

それと、半年間に亘る練習の努力の集積を一人でも多くの人々に聴いてもらうことが、私たちが歌うことと同様に重要なことです。「自分だけ歌って楽しめれば、それで充分」などということは「合唱」に限っては絶対あり得ません。況してベートーヴェンの「第9」は、その標題が示すように「苦悩を全て歓喜に至る」音楽なのです。

今世界の中で、日本ほどベートーヴェンの第9交響曲が数多く演奏されている国はありません。日本人の心にフィットする曲ということばかりでない、今の時代に生きる私たちの求めて止まない精神があるからでしょう。さあみんなでがんばりましょう。

のめり込む

〈バス〉 田中清巳

歌のひろば



秋の夕暮れはつるべ落としとはよく言ったものである。ついこの間までは、午後6時といえは「まだ陽も高い」といった感じだったのに、練習会場の準備をするのに、先ず電灯をつけてからでないと始められないようになってしまった。

練習回数も今日でちょうど折り返し点になるが、これから才9の正念場を迎える時期になって来る。日の短かさに追いかけられるように、演奏会の実務が練習の裏側でその忙しさを増す。今年の事はばかりでなく、来年の事も並行して考えなくてはならない。来年の演奏企画は少なくとも、今年中に決めて置かなければ、新年度の団員募集に大きな支障をきたすことになる。

毎年同じようなパターンが繰り返される訳だが、年々々々人同いからず、苦勞を買って出るような人が年毎に少なくなって、淋しい思いをすることが間々ある。社会全体の風潮であるかも知れないが、個性中心の行動が、団体という規制された枠組の中での行動を回避してしまうように思える。何事であれ興味を示す積極性も、或る事にのめり込むタイプとなると極めて少ないようになって良い。

才9合唱団のように、すべての人が仕事の余暇を利用して、演奏会を創り上げて行くためには、かなりハードな実務が生じる。この実務処理はボランティアである。損得づくでは団の運営が成り立たない。従ってこの仕事にのめり込める人が一人でも多く必要なのである。

「何のために？」と人は問うかも知れないが、私は「自分のために」としか答えられない。しかし、才9にのめり込んでいることが「自分のためになっている。」ことだけは自信を持って云える。それが社会にとってどう生かされるか、が私の「生きざま」なのではあるが……。

「自分だけ幸せになりたい」とは誰しも考えるところであるが、この心の裏には「他人の不幸」はかまわない、というような潜在意識の伏していることも事実である。ベートーヴェンは、こんなちっぽけな虚飾に満ちた人間の心を、シラーの詩による壮大な交響曲に変え、すべての人々の創造主に対する至福の歓喜を歌い上げたのである。だからこの歌を歌うということは生半可な気持ちでは出来ないのである。それなりに自分なりの目的意識を持った心構えで取り組まねばならないと私は思っている。

演奏会の一つの節目にすぎない。その結果は練習の積み重ねであるプロセスによって左右される。そのプロセスがどれだけ充実していたか、どうか、が演奏の良否につながるのである。その充実した満足感はやがて自分自身にはねかえってくる。それが「自分のために」になっている、ということなのかも知れない。



目を輝かせて歌おう

歓喜の合唱

1975年といえは、オ9合唱団が誕生して2年目である。その時のオ9=ユースが今手元にある。ガリバン刷りのトッポに「ベートーヴェンとの対話」と見出しがつけられている。

斉藤民団長が2年目のオ9についての挨拶の中で、「新鮮な気持ちで無心に努力すること」と言われている。恐らく一回目の感激の余韻と安堵が練習会場に漂いオ9に対する緊張感が薄らいでいることを敏感に感じ取って、オ9交響曲とはそんなものではないとと軽くたしなめられたのではあるまいか。

私たちが歌っているベートーヴェンのオ9交響曲の楽符そのものは永久に変わることはない。しかし音楽の演奏はその時その時の瞬間の流れの集積であり、それ故にやり直しのきかない芸術なのである。それ故、一回一回毎に新たな気持ちで精神を集中させていかなければ、音楽を創り上げたということにはならない。私たち高崎オ9合唱団のなすべきことは、古い曲の演奏ではなく、常に新しい音楽の創造なのである。

同じニュースの中で阿部延先生の言葉がある。「目を輝かせてうたって欲しい」オ9は歓喜の合唱として知られている。目が死んでいれば歌も死んでしまうのである。

十数年前の言葉が今もって通用するところにベートーヴェンの音楽の深遠さを思わずにはいられない。先生方は十年一日の如く、同じ注意や指導をされるので大変だとは思いますが、オ9にとってはその繰り返しこそがもっとも大切なものなのではあるまいか。

「何の為に繰り返すのか？」それは、それぞれの中で問いかけ欲しいと云っている。全くその通りであると思う。創造とは誰かによって与えられるものではなく、自ら創り出していくことなのだ。そこに力強い意志の力が、あなたの人生にとってどれだけ大きな価値を生み出すことか注目して欲しい。(田中清巳)

合唱団コール・パーク定期演奏会

指揮 島田和昭

ピアノ 横堀恭子

とき 10月24日(土) 6:30PM

ところ 高崎市文化会館ホール 入場券 700円 <バス> 大河原へどうぞ

第9チケット売り ノウハウ いろいろ

第9は毎年歌いたいのが、チケットを売るのが苦手。だから売らなくともよいというわけに行かないのがこれまたオ9の宿命。責任枚数の消化をどうすれば容易にさばくことが出来るか、みんなでアイデアを出し合い考えよう。

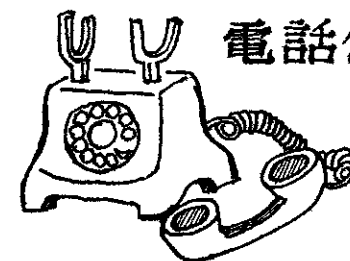
先ずは身内 いくら核家族の世の中とはいえ、親子兄弟姉妹、まるっきりいないという人は、そんなにないでしょう。先ずは旦那様の分、2人の子供の分、一諸に祖父母がいればこれでもう5枚は簡単です。何？チケット代？身内のことでしょ。水くさいこと云わずにクリスマス・プレゼントと気前よくあげましょう。さすれば相手も「それじゃあお返し」と倍位のプレゼントがくるかも。「損して得取れ」

「今年のオ9、山本直純先生の棒で私が出て歌うんです。だから協力してね。お願いっ！」とか何とか云ってチケットより先に自分を売りこむ事です。あとはそれ...あの...例の手練手管で、次々と売ってしまいます。これもひとえにベートーヴェンの音楽芸術を広めるため...であります。

自分を積極的に売りこむ



効率的に捌く 一枚一枚売っていたのではうちがあかない。そんな時は遠慮せず社長室へ乗り込む。「私たちの音楽文化活動に是非ご協力を！」オ9演奏会を聴きにければ、それだけでもう立派な文化人。あとは何処でカラオケを歌っていようと臆知しません。オ9合唱団で領収書を発行しますので会社の経費として落とせます。文化に貢献し、節税対策にもなり、社員に配って喜ばれ、まさに一石三鳥の働き。そこでまとめて売り10枚。意外と成功します。ついでに「来年もよろしく！」



電話作戦 「もしもし、〇〇さんですか。わたし△△。しばらくでした。今、わたしオ9歌ってるの。今年はクリスマスに演奏会があるんですけど、他の人が行っても買わないでね。そのうちに私が持ってお伺いしますので、よろしくね。でわ！」フツン。先手必勝。先んずればなんとやら。云うだけ云って相手に話をさせないのがテクニック。長電話になると「私、年末はいろいろと忙しくて...」などと婉曲に断られてしまいます。

何 はともあれ一生懸命頑張ります。素晴らしいクリスマス演奏会の創造の為に!



それぞれの曲の相違に注意

めざせ！全曲歌い込み

指導者会議＝月間目標を決めて指導

9月24日(木)、練習終了後、指導者会議が開かれました。今までの練習の進捗状況から判断して、10月の練習計画が細部にわたり検討されました。この結果、ハレルヤ、オ9、クリスマスキャロルと全く色彩を異にする各曲目の歌い分けに留意しながら、よりきめこまかな指導を行っていくことにしました。

具体的には練習の過程で仕上り状態を把握し、月間目標を定め、それに向けて取り組むこととし、各指導者がパートのみでなく、全体を掌握できるような方向も話し合われています。又11月の練習計画については10月29日に協議することも決定しました。

先生方の指導に応え、団員の皆さんも、練習日以外に各自研鑽に努め、よりすばらしい合唱を創り上げるよう頑張りましょう。(次頁計画表参照)なお全曲暗譜ですので詞(ことば)も正確に覚えるよう努力して下さい。



季節感

<テノール> 秋山芳久

♪ 歌のひろば

10月1日は「衣がえ」です。といっても今の若い人々にはピンとこないでしょう。学生たちも「霜降り」から「黒」の学生服に一斉に着がえたものです。現在もそういった習慣が続いているのかなわかりませんが、季節の変化を巧みに生活の中に取り入れ、単調になり勝ちな日々の活性化をはかっていたのかも知れませんね。近年はファッションも個性化し、季節感ばかりか、男女の区別さえわからなくなっていました。又食物もハウス栽培のお陰で、魚も冷凍保存で、と何時でも口に入り、この野菜は、果物は、一体いつの季節のものだったのだろうと考えさせられる時さえあります。その奥「オ9」の季節は年末と固定され一年の総括を感じさせますね。

10月の練習計画表

A型 (10月1日, 15日, 29日)

- 6:30~6:50 —— 発声練習
- 6:50~7:40 —— パート練習(or SA, TB)
- 6:50~7:20 オ9合唱
- 7:20~7:40 ハレルヤ, (キャロル)
- 7:40~7:55 —— 全体練習

7:55~8:05 —— 休憩, 諸連絡

- 8:05~8:40 —— 全体練習
- 8:05~8:25 オ9
- 8:25~8:40 キャロル, (ハレルヤ)

B型 (10月8日, 22日)

- 6:30~6:45 —— ドイツ語発音練習
- 6:45~7:05 —— 発声練習
- 7:05~7:55 —— パート練習(or SA, TB)
- 7:05~7:35 オ9
- 7:35~7:50 ハレルヤ, (キャロル)

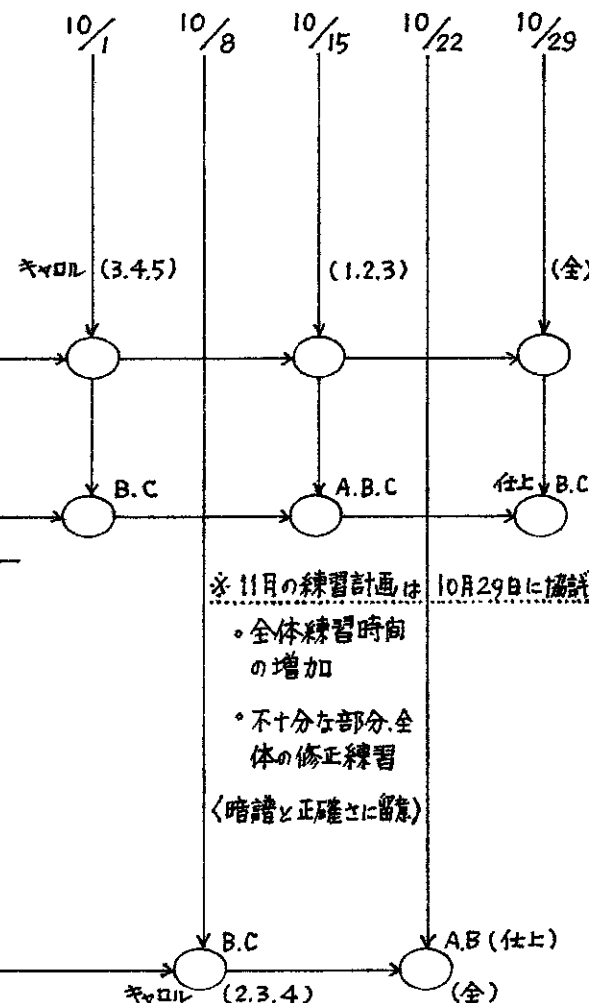
7:50~8:00 —— 休憩, 諸連絡

- 8:00~8:40 —— 全体練習
- 8:00~8:25 オ9
- 8:25~8:40 ハレルヤ, (キャロル)

目標

- <オ9> 全体とパートの習熟
- <ハレルヤ> 全体とパートの動き
- <キャロル> 曲と曲との連絡, 各曲の相違

全曲の歌い込み



※ 11月の練習計画は 10月29日に協議

- ・全体練習時間の増加
- ・不十分な部分全体の修正練習
- <暗譜と正確さに留意>

本番当日は半日休暇を

今年の演奏会は12月24日(木)です。従来は(土・日)を主体にやってきましたが、今回はウィークデーの夜が本番となります。演奏前の準備は午後1時から始まりますので、お勤めの方は半日休暇がとれるよう予定しておいて下さい。又、クリスマス・キャロル、ハレルヤなどオ9合唱だけでないので、12月22日頃、オーケストラとの合同練習も行なう計画となっています。これから連絡には充分ご注意下さい。



私たちにとって

自身で考えよう



ベートーヴェンとは何か

オ9合唱を歌う楽しみだけに終わらせない

ベートーヴェン＝この偉大な音楽家＝の音楽をあなたはどの位きいたことがありますか。何故か日本中“オ9フィーバー”の傾向がある現代ですが、オ9を歌っている人々でも、オ9以外のベートーヴェンの曲をどれだけ聴いたかと問われれば、想い出すのに苦労する方も多いのではないのでしょうか。

音楽を専攻している人や、極く握りのクラシックファンは別にして、“オ9を歌っている”人でも、ベートーヴェンの音楽を日常的に聴いていることはないでしょう。なのに巷に様々な音楽が溢れている景況の中で“オ9”の演奏会は、年毎にその回数が増えつつありますが、このことは一体何を意味するものなのでしょうか。考えてみれば興味の盡きないことではあります。

「あなたは何故ベートーヴェンを歌うのか」「聴くのか」こんな単純な問いにも答えるとなればそう簡単には行きません。ベートーヴェンが其処にあるから……などとお茶をにごして済まされる問題ではありません。高崎オ9合唱団が誕生して今年で14年立ちます。この辺で私達も「ベートーヴェンとは何か?」「オ9交響曲とは私達にとって何なのか」という原点に立返って、真剣に考える必要があるのではないのでしょうか。それはとりも直さず、自分自身にとってどんな意味合いを持つのか、を反問するよい機会でもあります。オ9を単に歌う楽しみだけに終わらせないためにも――。

IMUSICI

イムジチ音楽団

世界の名演をあなたに――

11月22日(日)開演6:00p.m.

群馬音楽センター

A=¥5,000 B=¥4,000 C=¥3,000 D=¥2,000
友の会(¥4,700) (¥3,700) (¥2,700) (¥1,800)

MOZART …… アイネクライネナハトムジーク

VIVALDI …… 四季 など……………

運営委員 若井 昂 までお申込み下さい。

主催/(財)高崎市文化事業団

チケットお問い合わせ：群馬音楽センター0273(22)4527 高崎市文化会館0273(25)0681

因果はめぐる……

〈バス〉塩谷雅信 (539.4.2生)



歌のひろば

因果というのは恐ろしいもので、オ9の指導者でもある長島先生にあったのは4月のことである。初めて会った時は単なる音楽の先生だと思って、さほど気にもとめていなかったのだが、そのうちに合唱が大好きでオ9の指導者になっているのが判明した。そして、なんとその指導者の中に、あの松原先生がいるというではないか!!

松原先生は私の高校の時の音楽の先生であり、その後も高校野球などで何度か顔を合わせていた。私がそのことを長島先生に話すと、ちょうど団員募集をしている頃だったため、さっそく松原先生に話したらしく、先生から勧誘の言葉をもらった。果たして私はオ9の新しいメンバーとして加えてもらうことになったわけだが、合唱に関してはズブの素人であるとともに音痴なのでみなさんの温い寛容な心を期待しています。

私の音楽の因縁はまだ新しく、大学の時オーケストラに入ったことにより、音楽のすばらしさに気付いた時から始まったものと思います。オケではホルンを吹いていましたが、ベートーヴェンはエグモント序曲や交響曲7番、5番の曲の中であの重厚な音の響きを私に伝えてくれました。他にいろいろな曲を演奏しましたが、やはり曲のつくりがしっかりしたベートーヴェンが最高!! その中でも第9交響曲は最高峰と言えましょう。

本当は演奏の方をしたかったのですが、今回は合唱で参加してみます。こんな私ですが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

演奏会用 ポスター、チラシ 中旬に配布予定

今月中旬頃 ポスター、チケット、演奏会用チラシなどが刷り上がってくる予定です。これらの印刷物は演奏会の宣伝材料に使って頂くわけですが、出来るだけ効果的に使って下さるようお願い致します。また ポスター貼りにつきましては例年のように一斉に貼り出したいと思っていますので、別途計画致しますが、その時は是非皆さんの積極的な参加をお願いします。

チケット配布につきましては既に再々お願いして居りますが、1人12枚を責任持って消化して下さい。なお責任枚数完全消化の際には招待券1枚を、20枚以上売り上げた方には10枚売り上げる毎に1枚の割合で招待券を差上げます。今から周囲に呼びかけ、予約を取っておきましょう。



ボランティアで

実務活動に積極参加を!!

ポスター貼りやチラシの配布

本番まであと2ヶ月に迫って参りました。例年のことながら、これからの期間はただ練習だけやっていれば良いというのではなく、団として沢山の実務が待ちかまえている季節でもあります。ポスター貼りや、個人に手渡すチケットの仕分け整理、チラシの配布、来年度企画の決定、本番当日のプログラム作成、精算業務、演奏会のお手伝い（接待、入口受付、放送、連絡）、レセプション準備、忘年会、新年会 e.t.c です。

これらの仕事をこなして行くためには、とても少数の人たちでは間に合いません。毎年、何となく演奏会が開かれ終わっていくのではありません。その影にはこの会の運営を支えている人が居ればこそこの話です。「誰かがやって受けてるからいい」といった安易な考え方でなく、一人一人が積極的に団の仕事に臨んで頂きたいのです。それでこそ私たちオ9合唱団が標榜する「手創りの演奏会」が文字通りのものとなるわけなのです。

今週中にはポスター、チラシ、チケット等の印刷が出来上がる予定になっています。早速ですが、これらの実務をお手伝い頂ける方は事務局まで是非お申し越し下さい。仕事は土曜、日曜を利用して行いますが、時間帯は皆さんの都合によって決めたいと考えています。但しこの活動については何れもボランティアでお願いしたいと思っておりますので謝礼等は一切ありません。汗を流し、苦しみを乗り越え、そして歌え終えた時の全身を覆う充実感……金銭では買えない出来ない貴重な贈り物を手中にする事ができます。

第11回県民芸術祭参加

Symphonic Poem with Chorus this is Gounod

交響詩曲

ぐんま

'78. 11. 8 (日) pm 6:30

群馬県民会館ホール

S ￥1,500

A ￥800

オ1部 妙義賛歌

オ2部 交響詩曲ぐんま

指揮 / 江口浩司

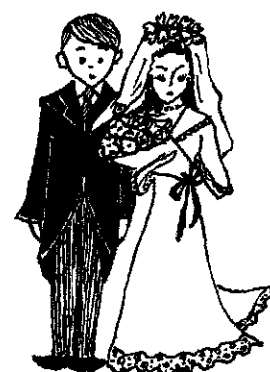
演奏 / 群馬交響楽団

独唱 / 大倉由紀枝ほか

合唱 / 県内合唱団ほか

■チケットは赤羽洋子まで

赤の他人からのメッセージ



歌のひろば

はじめまして！このたびヒヨんな争から高崎第9合唱団に所属する某女性と結婚する事になりました赤岩計俊（カズトシ）というものです。したがってあなた方とは全く面識のない赤の他人ですが、自己紹介せよと（彼女から）いう事でつたない文章を書く羽目になってしまいました。

私の一番好きなのはベートーヴェン……なんていうのは真赤なウソでありまして、酒ならアーリータイムス、歌ならジェームス・ブラウンをこよなく愛しており、今迄、第9の合唱団なんて聞くと「シラフでよく人前で歌を歌えるな」位にしかな考えていませんでしたが、間接的にもつながりが出来た称なので今年の12月24日は拝聴しに行く予定ですので、よろしくお願いします。

さて、いよいよ新婦の準備も整った称ですので御紹介いたします。新婦の「土塩篤子」さんに盛大な拍手をお願い致します。

花嫁からのメッセージ <ピアノ> 土塩 篤子

盛大な拍手ありがとうございます。縁あって赤岩さんとウェディングベルを鳴らすことになりました。団員の皆様、赤岩篤子になりますが今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

はてさて、全くオ9をナマで聴いたことのない人は赤岩さんと同じ意見を持つ人が多いと思いますので、「おーっ、すごい」と彼を驚かせてやろうと思ひ12月24日に向けて頑張ろう！と張り切っています。きっと聴いたら魅力に取りつかれ、「オレも歌いたい」と言うかもしれません……二人でいつもワハハ笑ってばかりいます。楽しい人生が送れそうです。

11月8日(日)ロイヤルホテルで挙式します。先ずは公開通知に及びました。

編集子からのメッセージ

よくもまあぬけぬけと、道理で「オ9ノート」がいつまで経っても編集子の手元に戻らなかつた訳です。とは云え月並な言葉ですが「篤ちゃんおめでとう」と云わせて下さい。こよなく愛するアーリータイムスから、土塩篤子に「永遠の愛」を誓わせられた、彼氏にはいささか気の毒な気も致しますが、ま、ウェディングベルが鳴り終った時、「結婚は人生の基場」なりと諦めて頂きましょう。ついでに「オ9」とも間接的から直接的関係へどうぞ。



運営委員 ノートより

第9ニュースでは“歌のひろば”で一般団員のナマの声を掲載し、団員間のコミュニケーションに役立てていますが、団員の立場から、役員の方々はどんな考え方で団の運営や活動に携わっているのか、という問いもあります。そこで今回から運営委員の方たちに順次登場願って、このニュースのトップを飾ることにしました。ご期待下さい。なお、歌のひろばも従来通り掲載しますので、是非御投稿下さるようお願いいたします。

より意欲的、積極的に歌い合わせよう

〈副団長・指導〉 あべ すいむ
阿部 延

何しろ今年は大変だと思っています。例年ですと「オ9」のみに専念していればよかったからです……この「オ9」も困難極まりない曲ですが……。

「ハレルヤコーラス」と「クリスマスキャロル」を加えたプログラム構成で聴く方には結構楽しめるステージになるでしょうが、練習の仕より状況をみまして少々頭を痛めているところです。皆さん全員それぞれ頑張っているわけですが……。

「ハレルヤコーラス」では、全体的な流れは一応OKとして、対位的な面（各パートが追いかける部分、ずれて出る部分等）がどうもうまくいきません。練習方法もいろいろ工夫しますが、皆さんも英語の発音して十分気をつけながらこの点を意識して歌っていただけたらと思います。

「クリスマスキャロル」このような曲をステージで歌うのには余程真剣に取り組まないと魅力的なものになりません。曲が単純ですし、よく知られている曲の連続ですから、各曲の表情の違い、その曲に合った歌い方に気を配っていきましょう。次に「オ9」になりますが、何年歌ってもむづかしい曲ですね。ステージ経験の差によって、曲の受けとめ方や表現力に違いがありますが全員一致協力して、あの最高の感激を目指し進みましょう。こゝでは発声もさることながら、ドイツ語の発音が何といてもポイントになります。日常生活の中で「つぶやきながら」こなしましょう。

さて、約2時間の練習、取り組む曲ハレルヤ、キャロル、オ9、アマチュアを主体とした団員……この条件の中でより良い演奏へむけるのには、各曲のイメージを鮮明に心に刻み、その実現のためより積極的、意欲的に取り組んでいく必要があると思います。皆さん！すばらしい感動と成果が得られるよう、全員手を取り合いながら頑張っていきましょう。

チケット 本日より配布 役員 20枚 団員12枚 完全消化を ポスター、チラシもできました！！

才14回目を迎える高崎オ9合唱団定期演奏会のポスター、チラシ、チケット等が出来上り、いよいよ今日から本番へ向って活動のスタートが切られます。今年は例年と違って至費が余計にかゝるのですが、団員各位の希望意見により、特に入場料金の値上げをせず、その分売上枚数を伸ばすことで、昨年と同じ料金に据置きとなりました。このような至過をふまえ、自分の割当枚数は責任を持って完全に消化して下さるようお願いいたします。

文化の 皆を守る

何故このように毎年割当枚数に責任を持たなければならないのか？それはオ9演奏会は、普通のコーラス・グループと違って大きな至費を必要とします。そしてその至費はチケットの売上げ以外にはありません。公費補助もなければ、スポンサーもありません。団員一人一人の力の結集によって維持されているのです。若し「オ9」の演奏会がなくなってしまうたら……。地方における音楽文化は間違いなく後退するでしょう。そうならない為には私たちの力が非常に大きな働きをしているのです。あなたは真に文化の担い手なのです。それは自らを高めあなたの人生を総り豊かに彩ることとなるでしょう。ところで現実の話ですが、チケットを入れてお渡しした「封筒」は精算用に最後まで使用致しますので、絶対に失くさないようにして下さい。また精算の都度持ってきて下さい。領収済分については事務局の領収印を押印

総り豊か
な人生を

精算封筒 は失くさないで

いたします。チラシについてはチケットと同じ枚数が入れてありますが、宣伝用に沢山用意しておりますので、必要なだけお持ち下さい。当初の予定では、今度の日曜日にポスター貼りを予定していましたが、屋外用ポスターの検印は催物の1ヶ月前でないといけないとのことなので、11月中旬頃に変更します。それまでの間、取場の中や、自宅の入口などで人の目につく場所のある方は、屋内用のポスターを貼って宣伝に努めて下さい。

何はともあれ、シラーやベートーヴェンの目指す、すべての人たちのための至福への道は、そう簡単に手に入るものではありません。極み苦しみ、そういったものを乗り越えてこそ、初めて掌中にあることができるのです。今年のクリスマス・イブが、今迄で最高の夜となるよう皆で頑張らしましょう。

ポスター貼
は11月中旬



ベートーヴェン 雑感

断片を大きな創造物に

〈運営委員・指導〉 松原 真介

以前N響アワー(教育テレビ)でベートーヴェンが作曲した交響曲第5番「運命」、第6番「田園」を放映したことがあった。その中で「田園」を演奏した時に解説者の芥川也寸志が「ベートーヴェンの曲は全てが断片でできていて、それを考えられない程見事に組み合わせ大きい創造物にしているようだ。」と話していた。

ベートーヴェンは古典派とロマン派のちょうど橋渡しの立場にあった作曲家で、古典派の完成者、ロマン派の先駆者という風に言われている。そして彼は耳が聞こえなくなり目が見えなくなるというように音楽家として致命的な障害を受けるわけであるが、そのような困難にもめげず、自分を常に最大限に生かす努力をし、音楽で自らの表現をしたのである。

「運命」と「田園」は同時代に作曲されたものであるが、この二つは本当に対照的な異質な作品で、何故このような曲が同じ時期に作曲することができたのか本当に驚異である。

しかし断片をつなぎ合せたというのであるから、モーツァルトのような本当に天啓的で完成されていたものを譜に書いたというのとは違って、若干ベートーヴェンは作曲家として不器用なところがあったのかと思いたくなる。

「運命」「田園」にしろ「オ9」にしろ何故かリズムやモチーフなどに本当に似ている部分がある。そんな所にもベートーヴェンの作風の、また違った面の特徴が感じられ、オ9を歌っても限らない興味を覚える 今日この頃である。

吉田 順子 ソプラノ リサイタル

〈ピアノ・矢部 伸子〉

'87. 11. 14 (土) 6:30pm

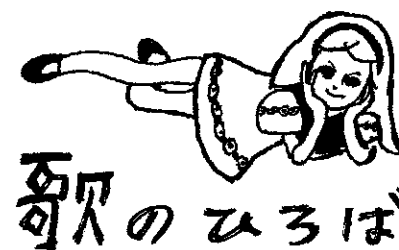
高崎市文化会館ホール

■ 一般 ¥1,500 ■ 学生 ¥1,000 (高校生以下)

■ シューマン ■ ブラームス
■ 山田耕稼 ■ 橋本国彦
■ 磯部 俊 ■ 中田喜直の作品等

御馳走は最後に……

〈アルト〉 後 雨 玲子



アルトの後雨玲子 chan (いい年して…) です。
“ノートを持たない人が云々”と言った“あの方”と目が合ってしまったばかりに……。まっ っかー。

とりあえず自己紹介です。 age. 花もはじろう……19才, S.43.1.11 生まれです。
add. 倉賀野 → 上中居……今度……山名へ11月に引越します。 hobby. 4輪レースの雑誌を買うこと、歌をうたう、寝る(食っちゃ寝)。 the dreams of my future. 歴史の先生になることです。 あっと思えた…… my job. ヤマハの音教コンパニオンを1週間前から……ただの雑用です。 うっ……やめたい……誰か仕事を下さい。

つけたし……えーっと……ただ今、法大の通教1年生です。 〈以上自己紹介、以下本論〉

何を書いてもよいのかわからないので、私の“12/24のクリスマスコンサートの曲順”についての意見を書きます。

オ9を歌った後に、クリスマス・キャロルを歌うそうですが、私はそのことに反対です。12/24に歌う3曲の評価をすれば、たぶん、オ9が一番高い評価を得るでしょう。クリスマス・キャロルは……どうなんだろうねえ。たぶん、お客様は……ゴッホの50億円のひまわりを見た後、コピーのひまわりを見るって感じで、なんとなくしらけた気になるんじゃないかしら……と言うのが私と、私の友人②の考えです。

御馳走は最後に……なんてこともありますし……私としては是非第9を最後に持ってきて欲しいのです。実は私の“愛しの KAZ-chan”が練馬からわざわざ、12/24のコンサートを見に来てくれるのです。(仕事が終わってから)で、KAZ-chan がこちらに着く時は……ふうえ……、オ9が終わって、キャロル……ッ。“そんなぁ……せっかく来たのに” KAZ-chanの気持は、こうなってしまうでしょう。

そんなことにならぬよう……彼に、ちゃーんとオ9を聴いて頂けるように、私としては便宜をはかっていただきたいのです。あっ、東京・埼玉方面からあと数人、聴きにきてくれるんですよ、仕事が終わってから。そういう人のためにも……お願いしまーす。考えておいて下さい。まーったく!! 個人的なわがままですが……すみません。

ひとこと 愛しの KAZ-chan, せっかく来て下さるのなら、絶対に(仕事を放棄しても会社をクビになっても)オ9に間に合う時間に出掛けて下さい。あなたの Reiko はコンサートを見に来てくれるなどと言っていますが、わがオ9合唱団は是非聴いて頂きたいのであります。そして……その感動を彼女と共に味わって下さい。クリスマス・イブが星降る夜になるか、ホワイトになるか、わかりませんが、コピーでない倅せがあなたのものとなることを!!



他人まかせではなく

一人一人が運営委員のつもりで

〈運営委員〉 吉井 秀明

早いもので僕も入団して3年目になりました。今年は運営委員の役までおおせつかり恐惶至極に存じてまわります。

1年目はドイツ語の発音と曲を覚えるのに無我夢中でした。2年目は1年目と同じ大野陽一郎先生の指揮ということで多少ゆとりがでて、上手に歌おうと練習に望めました。そして今年3年目はより上手に歌えるようにがんばろうと……。しかし、今年は、はたまた大変です。僕のように入団以前に合唱の経験がない者にとって“オ9”以外に“ハレルヤ”や“クリスマスキャロル”までやることは並大抵のことではありません。歌えること自体にはすごく魅力を感じるのですが、練習はとても容易じゃありません。“ハレルヤ”は歌ったことはもちろん、身にしみてしっかりと聞いたこともありません。“クリスマスキャロル”の曲も初めての曲もあるし、知っている曲も主旋律だけで、かえってテノールのパートが歌いづらかったりします。

もう本番も間近かにせまってきました。チケット売りも始まりました。今年は運営委員ということで、団の運営面や、団全体のことも考えなくてはならない立場に僕自身置かれたわけですが、さへきき一番強く感じていることは、団員一人一人全員が運営委員のつもりでなければいけないということです。つまり団員一人一人が強い自覚を持つことが大事だと思うのです。運営委員1年生として今までの反省をこめて伝えることです。まあ、1年目の時は練習についていくのに必死でとても団全体のことで気がまわらないということもありましたが、もっと団の一員として自覚を持つべきだったと思います。今考えると、他人まかせだったところが多々あったように感じています。事務局がしっかりしていて任せておけば安心だからといって、他人まかせではいけないと思います。

高崎オ9合唱団は老若男女の団員が結集してつくり上げる団体だと思います。チケット売りにしても、たれか売ってくれるだろうではなく、自分が売らんとしないと、なかなか音楽センターはいつぱいにならないし、その分“歓喜”の感動もうすれてしまうでしょう。とにかく、チケット売りにかぎらず、一人一人が運営委員になったつもりで(団長になったつもりならもっと良い)、積極的に活動し、より“フロイデ”の感動を味わえればいいのではないかと思います。

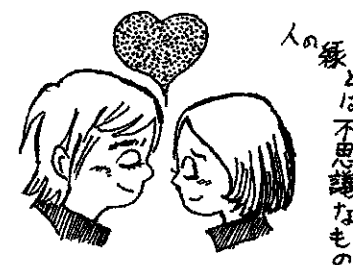
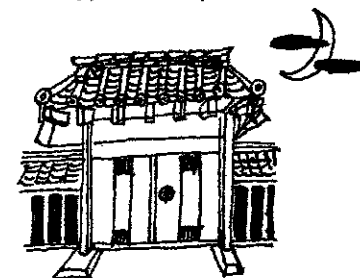
忘れられぬ感動を再び

〈アルト〉46番 黒沢 喜代子

人の縁とは不思議なもので、思いもかけない場所になつかしい人と出会ったり、たまたま居合わせたために知りあったり、なんとも不思議なものです。私がこの合唱団に入団したきっかけは後者によるものですが、未だに、この偶然を信じられません。

以前の私は、合唱には多少興味はあったものの実際加わってうたうことなど考えてもいませんでした。といいますが、音覚えが悪いのに、多少音痴となればわかって頂けるといいます。同じ音を出すものでも、どちらかといいますが、楽器を使う方が得意です。

学生の頃、ブラスバンドに入団したことがありまして、クラリネットを吹いていました。何度も何度も同じところをやり直したりしながら、時には指摘され、とても気にやみながらの練習は苦しかったのですが、仕上がった時の感動はとてもすばらしいものでした。と記憶していますが、今回は、その時の感動が忘れられなくて、思い切って参加することにしました。皆様にご迷惑をおかけしませんように、一生懸命頑張りますので、よろしくお祈りします。

人の縁とは不思議なもの
歌のひろは

長野県上田市から

男性陣へ応援依頼

上田市では市長が会長となって、何十年振りかオ9演奏会が、来る11月29日(日)PM2:00から上田市民会館で開催されます。ところで合唱団の総勢は400名、うち男性は50名不足ということで、急拠、群響の狩野事務局長を通じて、我がオ9合唱団に男性の応援依頼がありました。それというのも、今回行われる「上田オ9」の指揮が山本直純先生、オケ群響と高崎同様のメンバーなので是非友情応援をお願いしたいというものです。詳細についてはこれから、とりあえずわかっていることは、11月29日(日)AM11:00、ゲネプロ、PM2:00本番、場所上田市民会館です。高崎の「オ9」のつもりで全員参加を期待します。

山本レッスン
日程決まる!

山本先生の指揮者レッスンの日程が決まりました。何れも12月の3日(木)、10日(木)、22日(火)の3回です。3日と10日はこの練習場ですが、22日は中央公民館でオーケストラと一緒に練習する予定です。風邪にくれぐれも注意。



ひとつの提言

(童謡からでも……)

〈運営委員・指導〉 赤羽 洋子

今年も早や11月、紅葉も見頃となり芸術、文化の秋、まさにたけなわである。毎日を忙しく音楽に追われているうちに、もう才九、本番も近い。ごく自然に、いつものように、自分の関係することのみに夢中でいると、あっという間に師走になって反省し、あわててしまう。やることは色々あるのに、自己流に納得し満足してしまっている。

先日、NHKテレビで、かつての童謡歌手、安田姉妹が童謡を唄った。懐しい、暖かいメロディーに胸を熱くし、言葉の美しさに聞きほれ、清冽な気分になった。

その折のおもしろい発言に実は心ひかれた。それは、今の若いおみなさん方の多くが、赤ちゃん用のオルゴールの曲名を、ほとんど知らないのだという。誰でも知っていると思われる童謡や名曲をである。知らなくても美しいメロディーにひかれせせと赤ちゃんに聞かせているという。

若者のクラシック離れというが、このような感性がまだあるということが意外で、救われる思いもした。そして、今の若者の音楽は、と嘆く前に、音楽を愛する一人として、何かできるなど、その時感じた。コンサートで名曲を積極的に取り入れるのもそのひとつ、色々方法はある。みんなで、それぞれの小さい努力をしたらと思う。勿論、童謡にこだわるのではないが、たったそれだけの事でも何か生まれるにちがいない。

まず、やり始めてみてはどうだろう。来年こそ身近なことから夢を広げようと、今年の反省をふまえて、今、色々真剣に考えている。音楽家の使命などと、大げさにいうつもりはない、ひとつの小さな提言である。



conductor YAMAMOTO Lesson

12月3日(木), 10日(木), 22日(火), 6:30pm.

※22日の練習は中央公民館ホール、群響とオケ合せを行います。



何かいいことないかしら……

〈アルト〉 斉藤 秀子

ゆるやかに時は流れ 読書の秋になりましたね。

愛読書とまではいかないが、なんとなく気に入ったというか、肌合うという書物が人には1冊や2冊あるものです。これらの本、小説であれ、随筆であれ、その中に展開している論調、考え方をよく吟味すると鶏と卵の関係になるかも知れないが、書物の中の人物のコピーが自分のようであり、逆に自分と同じような人物が投影されているように感じとられるものです。したがって、書物の中の自分と対話をし、時にはじつと瞑想にふけることもでき、心の安らぎを覚えるのです。

この意味で愛読書を持つことの意義は大きいと思いますが、自分と同じ立場の人との対話だけからは、現在の自分から脱皮することは、むづかしいのではないのでしょうか。

弁証法を説明するのに、正反合という考え方があります。正とは自分の考えを是とし、次にこの考えを否定、反対の立場から考えて行き、最後にこれらの考えを総合し、一段高い結論へとまとめていく考え方です。

愛読書という自分の立場、考えを持った上で、反対の立場にある書物の意見に耳を傾け正・反の過程を経て総合的なものの見方、考え方を持つように心がけるとこの頃思うのです。このような文章を書いていると学生時代が懐しく甦りますねー。

毎日毎日忙しくて勉強はしなかったけど、あの頃の私の感性に宿った言葉がいくつかあげてみます。

- 音楽が失くさったら 僕が死んでしまうかという。そうではなくて 音楽は自分が生きて、人生を続けるエネルギーだと思ふ。音楽のない生命はあり得るが、生命のない音楽は あり得ない。(デビッド・ボウイ)
- 考えるということは問題を解決することではなく問題点を明確にすることだ。(キング・クリムゾン)
- いくら考えたところで、解らないことは 結局 解らない。(ビートルズ)
- 人間が考えるのは肉体であって、頭は回路にすぎない。今がすべて。(ロッキング・オン)

本当に今がすべて 28才……。何か いいこと ないかしらー。

■ 大変結構な言葉を有難う。「果報は寝て待て」ということもあります。仲々どううまく事の運は「ないところ」が理論と実際の違いなんだろうねえー。この際読書は止めにして、いいこと探しに、直ちにアクションを起こしましょう。期待してまーす。〈編集者〉



第14回演奏会に向けて

練習の成果と地方文化を問う

〈運営委員〉渡辺義之

木の葉が落ちて、木枯しがつめたい季節になりました。毎週木曜日の練習開始時刻の午後6時には、もう空はまっ暗くなっています。そうです、いよいよオ9本番の季節がやって来たのです。1ヵ月後は泣いても笑ってもオ9の本番、“オ9とクリスマス・キャロルの夕べ”です。

今年のプログラムは豪華だけれども、初心者には大変ではないか、と云う心配の声もあったのですが、練習を始めてみると例年になく団員の出席率も良く、気合の入った練習が毎週続きました。その成果を問うべき演奏会があと1ヵ月です。

12月24日の夜には1年間の汗と涙と努力のすべてをこめて、力いっぱい歌い上げましょう。同時に入場券の販売にも拍車をかけて下さい。どんなに良い演奏が出来ても、お客の数が少なかったり、赤字になったりしては、来年以降のオ9の見通しが立ちません。1枚でも多く入場券を売る為の努力をお願い致します。

ポスターを貼って下さい。チラシもまいて下さい。そして何よりも身近な知人、友人に一人でも多く声をかけ合って、オ9合唱団の活動を説明し、理解していただき、演奏会を聴きにきてもらって下さい。私達が力の限り努力して作り上げる“オ9とクリスマス・キャロルの夕べ”の演奏会に参加していただくことによって、本当の意味での地方文化のあり方に触れていただきたいと思います。

何はともあれあと1ヵ月です。後で悔いる事のない様、力いっぱい最後まで努力しましょう。そして希望あふれる1988年を迎えようではありませんか！

足利第九応援者募集！

12月13日(日)

募集人員 Sop.5 Ten.5 Bass.5

応募者は運営委員 Sop 茂木晴子へ申込むこと

敬告

運営委員若井昂さん・巖父徳次郎様(82)には11月11日急性心不全の為急逝されました。謹んでおくやみ申し上げます。オ9合唱団より花輪、香典を贈り弔意を表しました。

イエスの降誕について

〈ソプラノ〉中島とよ子



紀元前3年～14年位の時ローマの皇帝アウグストが世界中の者に戸籍登録をする株命じました。それは税金をとり立てるのが目的でした。人々はその登録をするために生れ故郷へかえって来ました。ヨセフもガリラヤの町ナザレを出てベツレヘムと云うダビデの町にかえって来ました。もう直ぐ子供の生れる妻マリヤと共に登録をしに行くためでした。

二人がベツレヘムにいる間にマリヤは男の子を生み、布につんで、かいた桶の中におかしました。その時宿屋は人がいっぱいいて二人の泊る処がなく、仕方なく馬小屋に泊りました。その時羊飼達が夜野宿しながら羊の群を番していると、神のみ使いが現われ、イエスの生れた事を告げ「いと高き処には神の栄光、地には平和、人には恵みがある株に」と云って消えました。

以上の株な光景も馬小屋の中でイエスをおかむ羊飼達、そして三人の博士の株子は多くの画家に依って画かれ、皆さん御承知の通りです。讃美歌は殆んどバイブルの中より生れています。ハレルヤも然りです。

X'masキャロルは以上申し上げたイエス誕生の喜びを歌ったものです。当日は大聴衆と共にクリスマス・イブを心ゆく迄満喫したいと思います。皆様頑張りましょう。お客様を美しいハーモニーの中に引き入れ、又昨年の株にブラボーの声が聞こえる株に、残り少い日程にベストを盡しましょうネ。

ピアノ大好き

みなさん、こんばんは！

私は今、一応〇〇音楽大学の、ピアノ科に席をおいています。まだ2年生で学校は毎日行っています。学校は県外ですが、新幹線です。だから今こうやって、オ9にも通っているのです。

〈アルト〉No.7

次島登紀恵

でも、たまに学校のお友達とコンサートなど行きますが、その日が木曜日なんてということもあるので、練習に来れないこともあります。そこは、笑ってごまかしちゃう。

人の前でピアノを弾くのは好きなので、今年の3月にはターミナルホテルで、コンサートをしました。来年の3月にもします。それに向けて、今から練習することになります。もちろんオ9の練習も一生懸命にやるつもりです。それでは……

■ 3月のコンサート楽しみです。ピアノは笑ってごまかせないのでそのつもりでね。(編)



素晴らしい感性の生徒たち

合唱が教えてくれたもの

合唱の才2世代はかく育つ

〈運営委員・指導〉長島好江

“合唱が教えてくれたもの”なんてすてきなタイトルなんでしょう！ でもこれは、生徒の作文の題からはいしゃくしたものなのです。（中学で音楽を教えていますので）

ひごろ、音楽室で、いや私の授業の中で音楽を大好きになって欲しいものだ（オ9を歌いに来るような子が育って欲しいものだ）願っている、私にとって 校内合唱コンクールの感想作文ほど大切なものはありません。

きょうは その作文の中から……

♪ 二年になって、皆んなが一つになって歌うということは、大変なんだな、と思いました。それに皆んなが一つになるということも、なかなか大変というのもわかりました。表面だけ一つになるなんて、うそをつけばいいようなものだけれど、合唱するときはうそじゃだめで本当に一つにならないとだめなものだと終ったあとと考えました。

歌っている時なんかは、興奮したみたいで背中がゾクゾクしてしまっただけ。それと、きんちょうしていたので、自分がどこにいるのか、わからなくなってしまうような気分になった。

♪ コンクールでの合唱は、自分でいうのもなんだけど、本当にすばらしかったし、すごかった。コンクール直前までは、とても心配だった。長島先生ぬきの朝練習なんか、ひどくて、（決して、先生がおっかないのではない……念のため）ピアノや指揮の人をおこらせてしまうくらい、皆んながずるいので私は、「もうこんな組じゃだめだな」と思っていた。

ところが本番では、本気でいっしょうけんめい歌った。順番が近づくたびにひとりひとりがやる気になっていったのだと思う。私は、ステージで歌う時、顔が真っ赤になるのがわかりました。歌い出してみたら、今までで一番良かったので「ヤ

ッター！」と思い、思いつき歌いました。とくに、自由曲のもりあがるところで、何か、こみあげてきてしまって、歌えなくなっていました。けれど夢中で歌いました。きんちょうすぎたのかもしれないけれど多分あれは、感動しちゃったのだと思います。

歌っている時あんなふうになるのは、初めてでした。みんなが精一はいい歌った合唱は最高だった。合唱は、クラスが一つになって熱くなれるものなのだと思います。

合唱は、ひとりひとりの声は何百倍にも大きく成長するから、すばらしいものになるのだと思います。合唱が教えてくれたものを忘れないでほしいと思います。いつだってまとまることなんてなかった組が初めて、合唱することでまとまったんですから。

これから もっともっと合唱にみがかがなれるようにしたいです。

……表現は未熟ですが、本物のにおいがあるのですが……



第九の迫力と荘厳さに

〈アルト〉渡辺康子

高崎市のはずれ、大根根第二団地に住んで居ります。学生時代からコーラスは大好きでしたが、いつも女声コーラスで、現在はママさんコーラスの伴奏をする時の方が多くて思いきり声を出すことが少く、時々唱いたい衝動にかられ、是非混声合唱を……と思い、オ9に入団させていただきました。楽譜は読めても、ドイツ語が全くダメですので、大変不安のまま、入団してしまいましたが、福田先生の親切な御指導のおかげで少し、ドイツ語の“ド”の字位分かってきたような気がします。？……まだダメかな……

毎年12月になると聴いていた、オ9のあの迫力と荘厳さは、私の心の奥底まで、ゆさぶり、心から音楽の素晴らしさを体で感じてきました。

今年は自ら舞台に立って、アルトの一員として唱えるなんて本当に嬉しいです。しかも山本直純先生の指揮のもとで……本番まで1ヶ月足らずしかありませんが、唱えるかどうか不安で、今、毎日テープをきいて、練習はしていますが、暗符出来ない所がまだ2、3ヶ所あり頑張らなければ……と思っております。今年はまだとても未熟ですが、出来るだけ何年も続けて行きたいと思っておりますので、何年かしたら上手に唱えるようになるつもりですので、ずーとよろしく願います。

来週は山本レッスン
PM 6:30 遅れずに！



イブには 今年も 燃えよう

継続こそ文化

〈運営委員〉 若井 昂

今年も本番まで数回の練習しかないが、相変わらず出席率が悪く、申訳けないと思っている。コールパークやでかんしや等でも混声で歌っているが、男性が少なくバランスが悪い。11月8日の交響詩曲「ぐんま」では100名を越す女性に対し、テノールはたったの8人(オ9.3人、パーク1人、二期会4人)であった。我がオ9も同様に少い。貴重な男性としての責任も重い。自分自身今年もあの感激が味わえるかどうか疑問である。

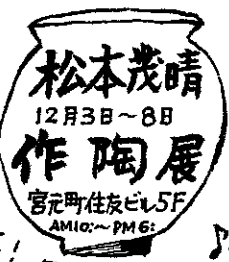
よく教育は「充電」であり、文化はその「放電」であるといわれている。私の過去13回の高崎オ9の経験からしても、あまり練習しない年は感激が少ない。何故か？ 喜びはそれに要した努力に比例するからであろう。

又教育は「反復」であり、演奏は「燃焼」であるともいわれる。本番の15分(合唱部分)に燃焼するために、その240倍の60時間(30日)の反復練習をしているが、これで十分だということはない。ベートーヴェンの要求する者を美しくさせて、シラーの詩を完全に理解し、正しいドイツ語で表現することは簡単なことではなく、永遠の課題であろう。しかしここにオ9を歌い続ける意味がある。

そして文化＝カルチャーとは、心の耕作であり、文化は工業的生産形態でなく、農業(アグリカルチャー)的生産形態である。つまり手づくりで時間をかけて、いつくしみ育てるのである。従って文化は継続であって、単なるイベントではない。かの有名なカラヤンのベルリンフィルを1回公演して満員にするよりも、群響の演奏会を毎月続ける方がはるかに文化的である。例えば中村紘子の集客力はすごいが、客のマナーは悪く、演奏中に席摺しはするし、楽章の間に拍手をしたりする。それは音楽を聞きにくくするのはなく、テレビに出る彼女の実物の顔を見にくくする客が多いからであろう。

しかし、そうはいっても、コンサートは聴衆と演奏者が一体となって創りだすものであるから、客が少くても演奏は乗らす。どこからでも財政的援助を受けていない我がオ9合唱団の存続すら危ぶまれる。是非クリスマスイブの本番は満員の音楽センターで完全燃焼したいものである。

事務局次長のシゲハル君です。是非見に来て！



今からもうゾクゾク

〈アルト〉 吉田 久仁子

オ9は今年で2年目です。去年は尾島町から高崎まで通っていたので練習が終わってから帰るのに1時間かかりましたが、今は高崎に下宿しているの、車で10分で帰れます。すいぶん楽になりました。

私には合唱の経験もなく、ベートーヴェンのすばらしさもあまり理解できないような気がします。わかっているのは、オ9がとってもむずかしいということです。でも毎週木曜日の練習が楽しみで、特に、回りの皆様のすばらしい合唱の中で、口をパクパクさせているだけで、もう大満足なのです。それから、今年は、ハレルヤ、キャロル、そしてオ9をクリスマス・イブに歌えるということを想像しただけで、もうゾクゾクします。最高のクリスマス・イブになりそうです。一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



12月24日 演奏会当日の予定と準備

PM 1:30 役員集合(会場準備)

2:00 一般団員集合

出欠受付、食事代払込、チケット精算。

3:00 発声練習

ゲネプロ } 移動については当日指示。

5:00 夕食、着替え、休息(外出禁止)

6:00 開場(客入れ)状況によって早める。

6:30 開演 ハレルヤ、オ9、クリスマスキャロル

8:30 終演 アンコール終了後すみやかに着換。

9:00 レセプション 指揮者と共に乾杯!

9:50 開散、これから本当のクリスマス・イブ

▶ 服装 女子 上衣白ブラウス、黒ロングスカート、黒靴

男子 白Yシャツ、黒蝶タイ、

上下黒スーツ、黒靴。

▶ 当日受付時に食事代1,000円(レセプション込)をお支払い下さい。

▶ チケット精算の際には必ず精算封筒をご持参下さい。

▶ Caution! オ9.1～3楽章の演奏に聞きほれて、舟漕ぎは絶対にしないで下さい。これも自己との闘いです。

1988新年会は1月21日(木)、岡源でピアノ付き

今年の演奏会は暮れもおしせまったクリスマス・イブで、しかもウィークデイ。このため年内にやっていた「恒例望年会」を設営する余地がありませんので、その分新年会を豪華に行うことになりました。奮ってご参加下さい。

日時 1988年1月21日(木) PM 6:30 開始

場所 高崎市新町 岡源(あかげん)

オ14回演奏会記念テレホンカード

会費 ¥3,000- (ピアノ付)

1枚1,000円 Xmasプレゼント・歳暮代りにご利用下さい。

申込 会費を添えて事務局まで……



生徒の感想文シリーズ Part II

合唱における詞の大切さ

凄いベートーヴェンの音楽——それを歌う私たちも凄い！

<運営委員・指導> 塚越 玲子

先日市女では藤原歌劇団合唱部を招いて音楽鑑賞会を行いました。その時の生徒が書いた感想文の中に次のようなものがありました。

『最初とアンコールで歌った「大地讃頌」は、とても意味深く感じた。土地開発が行われ、自然が少なくなってきている今、自然を、大地を賛える歌は不可欠なものだと思う。世界中の人が、この歌を口づさむようになったら、今の状況を見直し、住み心地の良い人間と自然が一体化できるような地球になると思う。』

合唱音楽には、^{ことば}詞があります。それは、器楽音楽のように、音から自由にイメージを広げたり、音を楽しむことのみに終らず、誰にでも、同一に受けとめてもらえる具体的な表現内容を持っています。それを、音楽によって一層感動的に、直感的に伝えられるわけですが、作者の意図することが、このように伝えることができれば、本望ではないでしょうか。

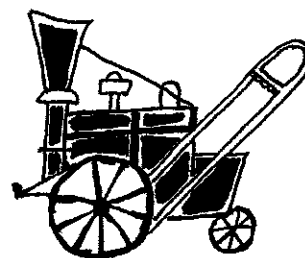
私達もシラーの詞を引用して、ベートーヴェンが伝えたいものを、十分表現できるような演奏を目標に心がけたいと思います。そのためには、機械的にメロディーと言葉を覚えるのではなく、何回も、ドイツ語と日本語を読解し、イメージをつかむことが大切かと思えます。しかし、何度読んでも、すごい詞だと思いつつ同時に、この詞を表現するベートーヴェンの音楽も、ただ々、すごいにつくる。こんなすごい歌を歌おうというのだから、私たちもすごい！

やりとげよう ★★★★★
チケットの完全消化

■ 精算はなるべく早めをお願いします。

今年のテレホンカード ¥1,000

クリスマス・プレゼントに……ご利用
オラの歴史の集積に……
高崎の音楽文化のために……下さい。



そろそろエンジンかけようか

<ソプラノ> 武田 尚子

歌のひろば

練習に参加させていただく様になり5ヶ月たちました。日本語のクリスマスキャロルと、大昔歌ったハレルヤコーラスは危ないながら頭の中で飛び跳ねているけれど、肝心の第九はまだに楽譜にしがみついています。

試験やレポートと同じで寸前になって追いつめられないとエンジンがかからない様でそろそろエンジンをかけなくてはと毎日通勤の車の中でテープをかけ、少しでも脳細胞にはりついてくれればと思っています。

そして毎回練習の後に感ずる心地良い疲労感。初めて練習に参加した後の感想は「良い運動になった。」ですが、12月24日は果たして歌い終った後どんな感動があるのかとても楽しみです。

もうひとついつも練習後に思うことは、これだけの人数の、立場も異なる、ただ第九

Xmas Carol

ひらがな歌詞を漢字まじりにしました。
意味を理解して、言葉を覚えて下さい。

という共通点のある老若男女が集まり合唱できることはすごい事だと音楽の魅力を改めて感ぜずにはいられません。まともなきまに。

I 諸人こぞりて

1. 諸人こぞりて 迎えまつれ
久しく待ちにし 主は来ませり
主は来ませり 主は来ませり
2. 悪魔のひとやを うちくだきて
捕虜をはなつと 主は来ませり
主は来ませり 主は来ませり

II 神の御子は今宵しも

1. 神の御子は 今宵しも
ベツレヘムに 生まれたもう
いざや友よ もろともに
忙ぎゆきて 拝まずや
2. 賤の女をば 母として
生まれまし ひとりごは
まことの神 きみの君
忙ぎゆきて 拝まずや

III ああベツレヘム

1. ああベツレヘムよ などかひとり
星のみ包いて ふかく眠る
知らずや今宵 くらき空に
2. ひとみな眠りて 知らぬまにや
み子なるキリスト 生まれたもう
あしたの星よ うたいまつれ
「神にはみ栄え 地に平和と」

IV 荒野のはてに

1. 荒野のはてに 夕日は落ちて
妙なるしらべ 天よりひびく
グロリア インエクセルシス デオ
2. 羊を守る 野辺の牧人
天なる歌を 喜び聞きぬ
グロリア インエクセルシス デオ

V きよしこの夜

1. きよしこの夜 星はひかり
救いのみ子は まるごねの中に
ねむりたもう いとやすく
2. きよしこの夜 み告げうけし
牧人たちは み子の御前に
ぬかずきぬ かしこみて
3. きよしこの夜 み子の笑みに
めぐみのみ代のあしたの光
輝やけり ほがらかに

お知らせ

当初予定しておりました
本日の山本レッスンは指揮
者の都合でキャンセルとなり
ました。次回は12月22日です。



第9の感動をすべての人に伝えよう

歓びは練習の申に！

〈副団長〉 田中 清巳

予定されていた今年の第9練習も今日が最終の日となりました。残るは22日のオケ合せと、24日の本番だけです。まさかオケ合せも練習のうち、などと思っている方はいないと思いますが、今から練習などという気分の方がいるとしたら、その方には今回はご遠慮願いたいと思います。

私たちが毎年第9の演奏会を催しているのは、単に、合唱が好きということだけではありません。ベートーヴェンの究極としての“歓び”をすべての人々に理解して蓄えるような機会を常に提供して行くことが、地方の音楽文化の高揚につながり、一人一人の心に豊かさをもたらすものと考えているからです。

毎年々々、演奏会が終わったあとの感動は、何ものにも換え難いものがあります。その感動を自分たちだけでなく、どれだけ多くの人々に波及させることができるかが私たちの合唱団に与えられた使命でもあり目的でもあります。特に14年ものキャリアを持つ私たちの演奏活動は社会的にも認知されていることでもあり、それだけに一層責任の重さも深まっています。従って生半可な気持ちでステージに上るのは、折角私たちの演奏を聴きに來てくれる多くの人々に対し、或る種の冒瀆であるとさへ感じられます。

先月の29日、上田市民会館で開かれた「オケ特別演奏会」の折、合唱顧問である辻正行先生にお逢いし一瞬の間、話をお聞きました。先生はその足ですぐ「ウィーンでのオケ」のため成田へ直行されるとのことでしたが、「ウィーンに集うオケ演奏会」も今年で3回目を迎えるが、向うの人たちからは、もっとグレードの高い合唱は出来ないのかといわれている。」と話されていました。初めのうちは「日本人がウィーンでオケを歌う」という物珍らしさもあったのですが、継続するとなれば内容の資質を問われるのは当然のことです。日本全国から個々に集った人々が数回練習した程度でベートーヴェンが歌えるなどと思ったら大きな間違いです。その意味で単一組織である私たちの合唱団が「ドイツへ行って歌おう」ということは、過去の実績から見ても大いに自信を持ってよい事だと思います。しかし、その前に12月24日の演奏会に向って全神経を傾注しなければなりません。素晴らしいクリスマス・イブとなるよう全員で頑張りましょう。

毎日の急情な生活を打破

〈アルト No.31〉 木戸 宏子

はじめまして！ 私は、今年始めて参加しました20歳のOLです。今まで部活もサークルも、社会人になってからも合唱とは縁がありませんでした。それがなぜ……？

話せば長いことながら、今を去ることン年前、某大学で日本史を専攻するかわり、小学校の教員免許をとるべく学内の初等教育特別講座というクラスに入っていました。そして、その行事の中に含まれていたのが合唱大会でした。

それぞれ専攻の違う人たちが集まったクラスでしたので、練習は授業の合間をやりくりして、とても大変でした。

でも、そうした中で最後に晴れの舞台で皆が力を合わせて歌ったあとのあのすばらしさ、充実感、身震いするような感動、それを是非、もう一度味わいたくて…… 結局教員にはなりませんでしたが…… 毎日の急情な生活を打破すべく、毎週の練習の中で、もうすでにひしひしと感動を味わっています。今後ともよろしくお願いします。

歌のひろば



12月22日(水)はオケ合せです。

音楽センター 駐車場 裁判所 教会

場所 高崎地域医療センター 4Fホール



PM.6:30 より開始

駐車はカトリック教会内へ おいて下さい

12月22日はいよいよ最後の総仕上げである、オケ合せが行われます。通常の場合は演奏会の当日のゲネプロだけなのですが、今回はハレルヤあり、クリスマス・キャロルありと盛り沢山の内容なので、オーケストラとの調整をしっかりと行っておきたいということです。特に今年初めて参加された方はもちろん、ハレルヤ、キャロルをオケ伴で歌った方は殆んど居ないと思いますので、ピアノ伴奏とは違った感じになると思います。指揮者の指示は必ずメモできるように筆記具をご用意下さい。

また、オケ合せの練習は6時30分から始まるので、その前に集合するようにして下さい。年末の忙しい時期ですが、自分の都合をやりくりして、遅れぬように、ご参集下さい。駐車場は周辺にありませんので、カトリック教会へおいて下さい。(教会へは話しております。)

チケットの精算は早目にお願ひします。現在までに約1/5の団員が割当を達成しています。演奏会前に或る程度の把握をしたいので、売れた分はその都度、精算して下さい。



難しい緊張感の持続

新規巻き直して来年こそ!!

＜運営委員＞ 岡田 近子

今年もまた、1年があっという間に過ぎた気がします。(一説によると「ひとは年をとればとる程、1年を短かく感じる」そうですが……) 1年が はやく過ぎれば過ぎるほど、反省枚料が増えるようで、今年も山ほどの枚料をかかえこんでしまいました。上手に料理しないと消化不良をおこしそうです。今特に感じていることは緊張感を持続させることの難しさです。

“N響と一緒にオラをうたおう”という言葉に誘われて入団したのは5年前。この季節になると自然に「今年はいつ?」ということばが友人たちの口から出て来るようになりました。とてもうれしいことですが、ふと気付くと自分自身は最初の頃の新鮮な気持ちを失くしかけていたのです。うたうことが おっくうになったとでも言ったらいいのでしょうか。

その昔(?)「うたうことが日課」のような生活をしていた学生時代(私は文学部だったのですが講義はサボっても合唱の練習をサボったことはなく、暇があれば一日中歌っていたのです。)毎日歌っていても「おっくう」なんて感じたことはなかったのですが……。

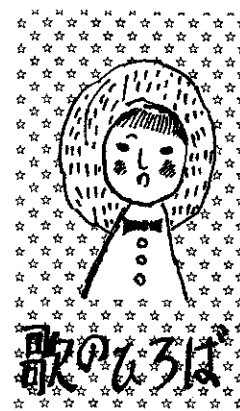
「どうしてかな?」仕事に慣れ、合唱団にも慣れて、これからは余裕を持って歌えると思ったのに……と考えているうちに思いあたりました。この「慣れ」が曲者だったのです。(今頃気付いたか。このバカメ」と言われそうです)

いつの間にか 慣れてしまったために仕事もうたも 中途半ばで 何となく おっくうになり……。そういえば 仕事も いやになった時がありました。これではいけない、このままグダグダしていれば 時間ばかりたってしまうと、必死にぬじを巻き直したのですが……。

今年も演奏会まで秒読み段階。できるだけことはします。そして来年!!

本番

の12月24日がいよいよ明後日となりました。今一度当日の準備について再点検して下さい。■集合はPM. 2:00までに音楽センターオ1会議室へ遅れずに! ■最初に出席受付、食卓代1000円納入 ■次にチケットの精算 ■テレホンカードの希望者は今のうちに購入して下さい。■男女別にそれぞれの控室で待機 ■発声練習→ゲネプロの順です。■服装 女性は白ブラウス・黒ロングスカート・ローヒール黒靴 ■男性 上下黒スーツ、白Yシャツ、黒蝶タイ ■以上点検終了。



あたたまりーい、私。

＜ソプラノ＞ No.15 ヤナイ 由美子 矢内

皆様 初めまして。私は今年3月、某短大を卒業し4月から社会人と呼ばれる身分となりました。現在はカワイ音楽教室の新人講師として、子供達を相手にピアノを教えています。

ピアノを教えているなんていうと、何とも聞こえの悪い職業ですが、今の子供というのは、教えているだけでは済まない面が多く、練習してこないだけなら可愛いのですが、口が達者で、言い分けの上手なことといったらないのです。

それに毎日が塾せめで、月水金はそろばん、火はピアノ、木はスイミング、土は習字、習いごとばかりで子供はまずいません。先生の立場からすれば、練習できないのなら高い月謝を払ってまで習うことないのに……と言いたところですが、何だかんだ言っても「ピアノの先生が一番優しいから、ピアノに来る日が一番楽しみ」なんて言われると、つい説教など忘れて、「じゃあ、みんなでX'mas会やろうか!」などと気前のいいことを言ってしまうんですね。これだからいけないのでしょうか……。

ここでふと第九の話を思い出しましたが、このX'mas会をやるクラスは11人も生徒がいて、レッスンの終わりが8:30(もちろんPM)なので家に着くのが9時過ぎなんですが、この12/22をX'mas会にして、医療センターの練習に間に合うように終らせて、オラのオケ合せに行く。私って どうしてこんなに頭が良いのでしょうか!!

ということで本番まであとわずか、ですが良い演奏会となるようみんなで頑張りましょう。

緊張気味の私

＜ソプラノ＞ 10月の18日 吉田 和子

☆11月に入った頃から食欲がとて
も出てきて、あゝ食欲の秋だな〜

なんて思っているうちに……風邪をひいてしまいました。今年はひどい風邪もひかずに何とか過ごせようだと思っていた矢先だったので、何だか残念な思いがしました。

学校の方も1週間あまり休んでしまったし……で合唱の練習の方も2回も続けて休む破目になってしまい……。残念でならないのです。

☆学校を休んでいた頃というのが、ちょうど暖かくて穏やかな日が続いていたのに、ついこの間から学校に出ていったら、寒い! ほんとうに真冬の寒さーという感じです。初氷が張ったとかいうことも聞き、また今日なども天気予報で気温の分布地図をみて、白がずっと広がっていたし、北海道の方は紫のところがかなりあったり……とても冷えこんでいるんだなーと、つくづく思いました。

☆あとひとつ、あちこちでクリスマスの雰囲気を感じられるようになって来たこと。休む前まではそんな気配はほとんどなかった。クリスマスツリーや真っ赤なポインセチアの花を見て、24日のコンサートがほんとに押し迫っていることを感じながら、やや緊張気味になってます。(12月2日に書いたもの)



クリスマスキャロルと讃美歌の思い出

＜運営委員＞ 竹澤 學

昭和25年4月、碓氷郡安中町の教会で、敬かに入学式が行われました。初めて目にしたステンドグラスを透した神秘的な光の中で、これ又初めて歌った讃美歌の華麗なる調べに感激を味わい、聖書の朗読と牧師兼校長のお説教で式は終わりました。……高崎市立片岡小学校から私立新島学園中学部へ進学した時の思い出話の始まりです。学校の薦めで日曜日には高崎教会にも足を運び、そこで又新しい讃美歌を歌う機会に恵まれました。

12月になり、初めてのクリスマス礼拝を迎えました。キリスト誕生のページェントでは羊飼いの役で舞台の一員として活躍しました。讃美歌合唱と聖書朗読が交互に行われ、最後に全員で「諸人こそして歌い榮れ」を声高らかに歌って幕を閉じました。あの素晴らしい初体験の感激が今も甦ってきて体の芯まで温かくなります。「お母さんコーラス」「学生コーラス」「職場コーラス」「合唱団サークル」等で多くの人がコーラスを楽しみ練習に励んでおりますが、その源を辿るとキリスト教を中心とした宗教音楽に到達します。美しいハーモニーの持つ気品の高さ、荘厳さに何とも言えぬ気持ちになります。

学園生活最後のイベントは卒業式です。讃美歌405番「神とともにいまして、行く道を守り……」440番「み神のたまひしころの玉を……」に送られ校門を後にしました。東京での学生生活も慌ただしく終わり、やがて就取して敬しい毎日を迎えます。

昭和37年5月1日に私達の結婚式が挙行されました。「妹背を笑る家のうち、わが主も共にいたまいて——」讃美歌430がおごそかに歌われ、牧師の祈禱や誓いの言葉を朗読し、新しい夫婦が誕生したのです。

クリスマスンの多い西洋では家庭にあっても、讃美歌を歌う習慣があります。誕生日、結婚記念日、収穫祭のパーティ等によく歌われます。

意外なことに、日本で使われている讃美歌の作曲者には世界的に有名な音楽家が多いのに感じします。

バッハ、ベートーヴェン、ヘンデル、ハイドン兄弟、モーツァルト、シューベルト、シューマン、シベリウス、ウェーバー……それに日本人の作曲家では岡本敏明や大中寅二等も名を連ねています。日本ではクリスマスシーズンのみ耳にしますが、これからはもっと多くの機会により多くの人が歌う時がやって来ると思います。あつと、クリスマスキャロルだけでなく、かんじんの「第9合唱」も今宵、高らかに「歓喜」を歌い上げようではありませんか。

才14回演奏会 練習成果を平常心で、来年も又ね!

待ちに待ったと云うべきか、来るものが来たと云うべきか、遂に本番の日とはなりました。あとはただ、淡々と平常心でのをむばかりです。何時もですと演奏会当日のニュースは「歌を! 声高らかに! 歓びのうたを!」なんて檄をとばすのですが、今年は平常と変らぬ紙面構成にしました。というのも演奏会が終わった後も「才9合唱団の練習」は隔週とは云え、普段と同じに続けられるからです。内容は「みんなで楽しめる混声合唱」です。場所、時間なども全く今までと同じです。日程は次のとおり。

1月21日(木) PM 6:30 才9新年会とニューイヤーコンサート、高崎市新町、岡源、会費3,000円

2月4日(木) 18日(木)、3月3日(木) 17日(木)、4月7日(木) 21日(木) 以上混声合唱、

5月19日(木)は'88年度総会となります。会場は何れもカトリック教会内「才9練習場」です。それではまた来年!! 新年会でお逢いしましょう!!

本当なら本屋の若旦那
そしていまは……

＜Bass＞ 黒沢 悟

えー、皆様毎度おなじみのベースの黒沢です。練習では付近のアルトの方々に御迷惑をおかけしておりますが、これもいよいよ本日で終り……となりますのでどうかお許し下さい。

簡単な自己紹介はすでに News の No.6 に載りましたので、今回はその続編と申しましょうか、補足といったような事を書きます。

生れは高崎です。数年前まで高崎駅西口に 弘文堂書店という本屋が在ったのですが、そこが私の家でした。本当なら今頃はそこの若旦那をしている筈だったのですが、色々ありまして現在はスバルの富士オート高崎営業所のセールスマンをしております。

合唱は中学時代から(新島学園)やっております、大学時代は大学の合唱団(東洋大学白山グリークラブ)の他に大学の友人の所属する宇都宮の男声合唱団(宇都宮メンネル・コール)にも入っております。そのメンネル・コールで間宮芳生を歌って以来、私は間宮芳生が嫌いになりました。理由を知りたい方には、そのコンサートのテープをお貸しします。聴けば分る……かな。

趣味は音楽の他に怪談を聞くことと話すこと、それを素直に怖がること、民俗学的に研究すること、それから商業柄ドライブ、そしてなぜかギャンブル。本は生れた時から本に囲まれていたので今でもよく読みます。愛読書はきつと笑われるから書きません。変な本じゃ無いですよ。文学作品なのですが友人からよく笑われるので……。

何とは無しにこれだけ書いてしまいましたが、まさか再び News に載ることはないと思うので、免に角最高のクリスマス・イブとしたいものです。

第9新年会
ニューイヤー
コンサート
'88.1.21 6:30
¥3,000.
新町 岡源



快記録作った第14回演奏会

今年も やったるでえ!!

聴衆に夢と感動と楽しさと……

明けましておめでとうございます。1988年の初日は例年にない温暖な気候をもたせて、その幕を切って落としました。初めてのクリスマス・イブ演奏会、オ9だけでなく合唱への取り組み、おまけにアンコール曲まで、そして立見まで出てしまった超満員の盛況。何から何まで異例づくめの演奏会に加え、聴衆の反応も今までにない「大好評」。何よりも私たちが喜ばせてくれたのは「クラシック演奏会がこんなに楽しく感じられたのは初めて」と言うお客さんの感想が多かったことです。

過去14年間に亘るオ9合唱団の演奏会の中でも、こんなに楽しまれ喜ばれたことは、かつてない様な気がします。全国で演奏される第9交響曲は約250回を数えるといわれていますが、「日本列島第九フィーバー」が何処まで続くにせよ、ステージと客席が一体化してこそ真の歓びが具現化されるのだと思われまふ。既に姿を消して行く合唱団もあるやに聞きますが、地域特性があるにしても、「第九」を歌い続けることの難しさは並大抵のものではありません。

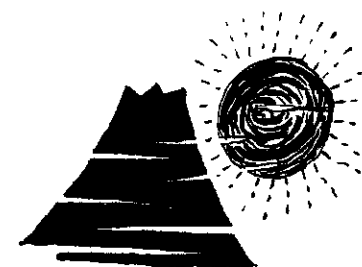
ベートーヴェンの第9交響曲と聞いただけでも、「そんなむずかしいもの」とか「高尚のもの」とか「クラシックは趣味じゃない」とか拒否反応を起こす人が、世間には未だ沢山居ます。むしろ、そんな風に考えたり感じたりしている方の人々が多いのかも知れません。それだけに今までの演奏会を成功に導くのは大変なことでした。今回の演奏会の入場者数は2,185人でした。クラシック演奏会としては音楽センター始まって以来の記録だそうです。どうしてこんなに大勢の人々が来てくれたのか。もち論、団員1人1人が懸命にチケットを売ったということもありましょ。しかし、今までの演奏会でも同じように真剣に取り組んでいたのです。

何故大成功だったのか？この課題を私たちは、これからじっくり分析して、これからのオ9の運動に取り組んでいかなければなりません。「すごく楽しかったわ！」という、いとも単純な感嘆詞が、これ程実感として嬉しく感じられたのも初めてのことでした。

新年早々、少々理屈っぽくなりました。今はとに角、昨年の演奏会が大成功であったことを共に喜び合いましょ。そしてこの喜びを新たな年の大いなる夢の出発点として……〈田中〉

身近かなことから

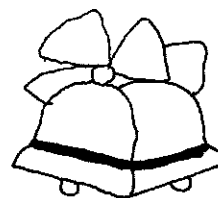
〈sop.35〉 引田 貴美枝



歌のひろば

紅、黄と美しい彩を見せてくれた並木も落葉ししてしまい鋭い小枝が空にむかってのびている。寒々とした空が拡がり冬の到来をつけろ。

寒さに負けず元気に駆け回る子供達の弾けるような声が響いてくる。子供達にとって、どうでもうれしい12月。北風がもってくる冬の自然にのって、あわてんぼうのサンタクロースが道を迷わず早くきてくれないかと期待に胸をふくらませて待っている子供達。



師走の日々は、まっしぐらに冬至にむかい夜の訪れが早い。ぴーんとはりつめるように澄んだ星空の下で、大きく息を吸い込むと、透明感がほとばしり、身体中を冷たい水で洗ったように爽快な気分になる。窓辺には真紅な、ポインセチアやシクラメンの鉢が並ぶ。すくっと背筋を伸ばした子どものように、茎を伸ばして恥ずかしげに下をむき、シクラメンの花が咲いている。

葉をかきわけると、大小のつぼみか、口噴き出る生命力を抑えるように出番をまっている。とっても楽しいことがありそうな新春が、そこまできているようだ!!

※この原稿は昨年の12月17日に投稿されたものです。時期がずれてしまいましたが、敢えて掲載させて頂きました。ふきこぼれそうな春の光がもう辺りを包んでいます。稿

隔週レッスン もう始まっている今年のオ9

オ9演奏会が終わるともう今年はずべて終り、と思っている方が意外と多いのではないだろうか。他所のオ9は大体発声式から演奏会までというのがその活動期間のようですが、高崎第9合唱団は年間を通して合唱練習をしています。そのことが今年の第9の活力になっているのです。5月の総会までの間、一週おきですが、楽しい混声合唱を中心に、人と人とのふれ合いを重ねていきます。今年は次の日程で行いますので、友人お誘い合せてお出掛け下さい。又新規の入団者も受付けています。

2月 4日, 18日, 3月 3日, 17日, 4月 7日, 21日 以上 混声合唱。
場所: 高崎市高松町 カトリック教会 オ9練習場, 時刻 PM. 6:30 開始, 曜日はいずれも木曜日です。

5月19日(木)は1988年度の総会です。総会では来年度の企画や活動計画などをみんなで討議して決めます。又、指導者の先生方を中心に行事の都度ミニコンサートを開いています。



’88年演奏会は 12月10日(土)に

ドイツ公演の夢 ’89年に実現へ!

隔週レッスンの指導は 松原先生

’88年1月30日、高崎中央公民館オ1学習室で、オ4回運営委員会が開かれました。この日の主な議題は、1988年度の年間企画に関することと、当面する隔週レッスンの運営についてでしたが、関連する諸問題も併せて話し合いが行われました。

先ず、今年度の企画についてですが、かねてから15周年記念イベントとして「ドイツで歌う高崎第9」と定期演奏会との調整をどうするかといったことが協議されましたが、ドイツ公演については未だ団員に具体案が示されていないことから、当初予定していた今年度実現はタイムスケジュールから見ても無理と判断、来年度実施に向けて具体的な日程を今春までに立案、これにより1989年度には「高崎第9」としてドイツ公演が出来るよう活動することになりました。

以上の結果、今年の演奏会は12月10日(土)PM6:30に行うことに決定、指揮者については山田一雄、小松一孝、小泉裕等の中から折衝することになりましたが、第9交響曲以外の合唱曲については、決定した指揮者と協議して決めることにしました。もし近日中に指揮者が確定すれば、隔週レッスン期間にこれらの合唱曲に取り組むことにして居ます。しかし曲の内容によっては、従来6月より行っていた発声式をもっと早く繰り上げて公式練習に入る等の措置も必要になってくるかも知れません。

当面する隔週レッスンの運営については、常任指揮は松原真介先生をお願いすることになりました。この期間中には新規入団者の受付も同時に行いますので、友人、知人等を是非お誘い下さい。

またこの運営委員会の中で、「第9合唱14年」の活動成果を踏まえ、単年度の短期的視点から脱却した「中長期の展望(オ9ビジョンの確立)」が必要ではないか、という意見が出されましたが、これについては後日運営委員会懇談会を設営し、たっぷり時間をかけて検討しようということになりました。団員の皆さんの意見も充分汲み上げて行きたいと思っておりますので、これらの点についてご提案がありましたら、役員又は事務局へ遠慮なくお寄せ下さい。



今日は立春。暖冬のおかげで春が待ち遠しいというように感じることはありませんでしたが、でもやっぱり、日一日と暖さを増す陽の光を見ると、生物の息吹きがそこかしこに感じられ心もはずんできます。第9新年会に続いて、隔週レッスンも愈々本格化するわけですが、今回は趣向を変えて音楽セミナーを開きます。

音楽による創造力開発セミナー

このセミナーのテーマは「心の健康と音楽」。講師はCBSソニーファミリークラブ専売会社の藤井一輝さんです。

藤井さんは昭和23年12月生れの39才。昭和46年3月成城大学文学部英米文学学科卒業。(株)レナウンを至て昭和54年CBSソニー入社。同社の専属「ミュージック・プロモーター」として現在全国各地で「音楽による創造力開発セミナー」を開催。

名曲は創造力を高め、右脳の開発、現代病の治療に効果があるといった研究が進められ、この普及に努められています。昭和62年6月にはNHKTV「クローズアップ」にも出演しています。

今日のセミナーでは講師の挨拶のあと、1.音楽治療の具体例 2.CMに使われている名曲 3.ストレス解消と音楽について 4.創造性と能力開発と音楽 5.音楽による情操教育の実例 6.使用した音楽及びCD(コンパクトディスク)の紹介という内容で、進められることになっています。どうぞご期待下さい。



ビデオテープ 希望者に頒布

昨年12月24に行われたクリスマス・イブ演奏会については有阪運営委員の好意により、リハーサル、本番の模様を2時間のビデオテープに収められました。本日、このテープの一部をご紹介しますので、視聴のうえ、希望者には実費で頒布致します。申込みは有阪運営委員へ直接お願いします。

また演奏会写真については見本アルバムを用意致しますので、所定番号をお送りの上、現金を添えて事務局へお申し込み下さい。写真はある程度申し込み数がまとまってから焼付の注文を行いますので、お手許に届くまでは多少時間がかりますので、あらかじめ御承知おき下さい。一定期間経過後は、注文に応じられなくなりますので、隔週レッスンに出席できない団員には、口コミでその旨お伝えして下さい。NHKFM放送の録音テープご希望の方は竹沢運営委員にご相談下さい。

歌のひろば
原稿
募集!!



'88年度の指揮は

山田一雄氏に

初心にかえって今年も頑張ろう

前回の第9ニュース No.33でお知らせしたとおり、1988年度の第9演奏会は12月10日(土)の夜に行うことが決定されましたが、指揮者については未定の状態でした。その後数人の指揮者と折衝を重ねて参りましたが、それぞれのスケジュールの都合合せの中からもなく運営委員会での第1希望であった山田一雄先生に決定しました。山田先生は才8回の演奏会の指揮棒をとられ、高崎第9としては今回が2度目の指揮になります。とは云え、当時からの継続団員の数もかなり限られていると思われるので、実質的には初めて...といっても良いのではないのでしょうか。

第9以外の合唱曲を何にするかは、オーケストレーションの関係もあり、なるべく早い機会に山田先生の意向も伺った上で決定していきたい考えですが、隔週レッスンの期間中に決まれば、早速これを練習の中に取り込んで行くことも可能です。

太田で「群馬音楽使節団」が結成される

来春渡米 姉妹都市などで第9演奏

太田ジュニアフィルハーモニーオーケストラと太田第9を歌う会が中心となって「ぐんま音楽使節団」が去る1月20日結成され、1989年3月30日～4月6日の予定で、アメリカ ミシガン州のフリント市、カリフォルニア州バーバンク市でジュニアオーケストラの演奏と地元合唱団の応援を得て「第9」を歌うことになり、この使節団の募集を始めました。バーバンク市は太田市の姉妹都市で、フリント市のあるミシガン州には高崎の姉妹都市のバトルクリーク市もあるので、ここでも演奏会を開くということです。

この使節団結成に当っては高崎第9合唱団にも呼びかけがあり、参加要請も行われましたが、当団は既に「ドイツ公演」の企画が決定されているので、運営委員会としては「団としての参加は行わない」ことに決定、但し個人的参加希望者には連絡の労をとることに致しました。主な演奏プログラムはベートーヴェン「第九4楽章」ヘンデル「メサイアよりハレルヤ」その他日本歌曲等です。直接のお問合せは「ぐんま音楽親善使節団実行委事務局 太田市沢町48-5 南紳一 TEL 0276-46-7790」まで。

ドイツ公演の実現に向つて
条件づくりのアンケート

みんなが参加できるように

長い間育ぐんで来た「ドイツ公演」の夢がだんだんその実現へ向って谷川の雪解けのように、少しずつ動き始めて来ました。本当は高崎第9合唱団15周年記念イベントとして、この企画が掲げられたのですが、何しろ自分たちの希望だけで、どのように進めて行ったらよいのか、まさに暗中模索の状態が続いていました。

この壮挙の実施に当っては、役員会の中でプロジェクトチームも作られましたが、個人的な視野の範囲では限られた考え方が話し合われただけで、具体的な行動となると、それぞれの仕事もあり、仲々進まなかったのが今までの実状です。しかし、何時までもこのような状態では、私たちの夢は夢として終わってしまいそうです。そこで実施のための条件づくりとして、団員の意志を統一的に纏めようということで、アンケートを実施することになりました。

アンケートの実施にあたっては、仮の計画条件を設定し、それに諾否で答えて貰えるようにしたいと考えています。運営委員会としては1989年度に実現しよう、という決定がされていますので、アンケートも早急に実施する予定です。

現在までに大筋として考えられていることは、総勢として150名規模、最低でも100名の催行人員が必要、所要日数10日間、個人全費30～40万円、といったところですが、公演の場所としては東ドイツ(ベルリン)、オーストリア(ウィーン)などを候補地としています。

ベートーヴェンの生地はボンですが、その作品の多くはウィーンでつくられました。このウィーンにある楽友協会ホールでは、ここ数年日本人による「第9」ツアーによる演奏会が開かれています。恒例化するに従って「音楽性の高い第9」が要請されているそうです。これは日本全国からの寄せ集めですから無理もないことと思いますが、そういった意味からすれば私たちのような単一指導、単一練習による「第9」を聴いて欲しいと願わずにはいられません。

「音楽に国境はない」といわれますが、真の国際文化の交流は、音楽の響きの中から、深い感動を手えてこそ、その実が総なるのではないのでしょうか。

私たちの合唱団は「奇蹟の音楽文化」をモットーにしていますが、素朴な活動の中から地域に根ざした文化の創造を目指しています。そこには誰の力にも頼らない自分たちによる自分たちのための自分たちの音楽の創造の歓びがあります。困難なことを乗り越えて歓喜に至る—ベートーヴェンのこの言葉を胸に是非このイベントを成功に導きましょ。

次回の練習は 3月3日(木)

これからのレッスンは

3月17日、4月7日、21日(何れも木曜)

5月19日(木)は'88総会とミニコンサート



3月10日 高崎の学習・文化活動を考える講座で

渡辺義之運営委員がシンポジウム講演

第9活動に自負と自覚を！

高崎市中心公民館の主催で、いま「高崎の学習・文化活動を考える講座 — 学習・文化はあなたの権利 —」が開かれています。この中で 3月10日(木)午後6時30分～8時30分にかけて「高崎の文化活動を考える — 活動実践の立場から —」と題してシンポジウムが行われます。

このシンポジウムの講師団の一人として、当合唱団の渡辺義之運営委員が参加しますが、合唱活動を根に社会文化運動を永年実践してきている渡辺さんの基調講演が注目されています。特に、これまでの合唱活動の中で培われた、様々な人々との出会いや、音楽文化が私たちの生活にとって、何故不可欠なのか、そしてこの文化運動をどのように実践してきたか、又これからどのように推し進めて行くべきか、など彼の体験を通しての貴重なエッセンスが語られることになっています。もちろん私たちが来年予定しているドイツやオーストリア公演の企画にも言及されることと思いますが、こうした夢のような目標を着実に実現していくことが、市民生活の文化向上に直結することでもあります。

私たちが普段何げなく、自分の趣味や欲望を満たしたいというだけの動機で合唱に参加したとしても、そのことが社会に与える影響は(特に文化的影響)、本人の個別的意志とは関わりなく、予想以上に大きな波紋を広げるものです。この波紋が大きければ大きい程社会への貢献度も大きいことにはなりますが、同時に社会的責任も大きくなるわけです。

創生以来15年を迎えるわが高崎第9合唱団の歩みは、既に市民生活に密着した存在になりつつあります。「一生に一度位はベートーヴェンの第9を歌ってみたい」と願望している人は意外と多いように思われますし、「一度第9を歌ったから、もういい」という考え方の人も含め、私たちは一回一回の演奏会の積み重ねが、高崎地方の音楽文化の発展に、ささやかでも寄与していることへの自負と自覚を持って、「第9」運動を続けていかなければなりません。

次の練習日は3月17日(木)です。お忘れなく

木曜夜はいいぞ...

<匿名希望>

今宵は桃の節句。女の子のいる家庭では多分練習はお休みになるのではないのでしょうか。してみると今夜はウラ若き女性とオジンだけの合唱 — という事にもなりかねません。

家にあつては兎角粗大ごみ扱いの悲哀をかこつていても、木曜日夜のとばりが降りる頃ともなれば、いそいそと第9練習場に足が向かいます。何んちゃったって第9合唱

団にとっては貴重な男性の存在、ウーマンリブがどうおっしゃろうとも、男、無くして混声合唱が成り立つわけがない。口には出さぬど心に秘めた優越感に、一人悦に入っている次第。などと云えば何やらSMめいてしまいますが、ニヒルでもなく本人は結構バの底から、合唱を楽しみ、少々遅すぎた青春を証歌しているのだ!! ということを知って頂きたいのです。

瀬戸大橋開通記念イベント

“第9”初演の地 鳴門市で 第9を歌おう!! (6月5日)

希望者は早急に事務局へ → 一括して申し込みます。

日本で初めて第9が演奏された鳴門市で、「一諸に第9を歌いませんか」とのお誘いのお便りを頂きました。鳴門市が第9の日本初演の地となった、いささうは、第一次世界大戦の折、捕虜として送られて来たドイツ兵達が、鳴門市の板東俘虜収容所における3年間の抑留生活の中で、大正7年6月1日に演奏され、これが日本で最初の第9と云われているわけです。

鳴門市「第9」を歌う会はこれを記念し、毎年6月1日を「第9」の日と定め、6月の第1日曜日に演奏会を開き、今年で才7回目を迎えるそうです。今回は特に4月10日瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が陸続きになることを記念し、「鳴門市で第9を歌おう!!」と全国の仲間に参加を呼びかけています。

演奏会日時は 昭和63年6月5日(日)午後2時開演、場所は 鳴門市文化会館ホール、管弦楽 徳島交響楽団、指揮 小笠原洋三、ソプラノ 小島信子、アルト 小笠原和代、テノール 米沢 傑、バリトン 桑島香也、合唱 鳴門市「第9」を歌う会合唱団と全国の「第9」を歌う仲間たち、主催 鳴門市・鳴門市教育委員会、条件としては 演奏会参加費は無料、但し交通宿泊費は自己負担、希望者には宿泊施設斡旋、練習及びレプロ 6月4日(土)午後6時より、6月5日本番日は午前11時集合、午後3時半終演。申込メド4月30日。希望者は事務局までどうぞ。





みんなが参加できるドイツ公演に

心の交流をめざして...

人と人とのふれあいを大切に

3月～4月は人事異動の季節です。去り難い思いを残して行く人、未知の不安を胸に来る人、人々な情念がこの時期に凝り交います。練習場の目と鼻の先に住んで居られた相沢さんもその一人です。今日が最後の練習日ということで別項のお別れの一文をお寄せ下さいました。一昨年までバスで歌っていた小玉泰孝君(ニ浪)も、先日編集子の所へ電話をくれました。自ら「禁多浪」を名のり勉学の甲斐あって京都大学へ合格したとの嬉しい知らせでした。従って彼も又、京都へ去ります。しかし「高崎第9」で過ごした有為な日々は人の心の出会いとして、彼の忘れ得ぬ終生の珠玉として残るものでしょう。ドイツ語学科に入ったのも、第9での影響が大きく作用していたのかも知れません。

高崎第9合唱団は今年で満15年を迎えます。この歳月の歩みの中で、2,000人近くの人々が、ベートーヴェンの第九という糸によって結ばれていることを考える時、人々の交流の不思議さと連続と続く歴史の重さを感じます。そしてその中から培われる文化がどれだけ私たちの心を豊かにしてくれていることか。

この心の交流を国際的なものに広めて行こうと3年前から「ドイツでの第九公演」の企画が話し合われて来ました。そして愈々実施に向けてのスタートが切られます。この公演を成功させるのに先ず必要なことは、団員すべての人がこの公演に参加する意志を持つことです。自分で行けるかどうか、わからない、というような考え方ではなく、どうしたら行けるか、という方法論を考えましょう。

「たいけよ、さらば、肉かれん。」ベートーヴェンの交響曲「第5番」〈運命〉の冒頭のモチーフが示すように、自分自身の手でその扉をたたくきましょう。取場のことは、商売は、日数は、費用は、象のことは、e.t.c. それぞれの事情はみんなが持っています。それを一つ一つクリア

して行く努力が、必要なのです。そしてその不撓の努力を続ける意志が最も大切なのだと思います。

来年—1989年、私たち「高崎第9合唱団の第九」をドイツの地で、声高らかに響かせるよう共にがんばりましょう。

次回の練習日は
4月7日(木)です。

(3月31日(木)の練習はありません)



歌の心は

さようなら 高崎!
第九をありがとう!!

〈アルト No.26〉 相沢カツ子

生まれてはじめて群馬県民となって2年半、その後半を第9合唱団に入れていただけたことは、私にとって大変しあわせなことでした。

歌うことは子どもの時から大好きで、青春時代は必ずどこかの合唱団に入って楽しんでおりました。独身時代の合唱経験で忘れられないのは、東京で、楠瀬一途先生率いる「コール・フロッシュ」で、ベートーヴェンの「イエズマイネフロイデ」を上野の文化会館小ホールで発表したことでした。あの経験がなければ、とてもこの名だたる「高崎第9」へなど入る勇気、なかったんじゃないかしら?と、今以って思っております。結婚以来コーラスからは遠ざかり、せいぜい教会で讃美歌を歌うくらいが関の山、というところでした。

が、縁あってこの高崎に参り、住居が高松町というのが全く天の恵みでありました。一年目も勿論、入りたかった。木曜の夜毎に聞こえるあの美しいハーモニーが、高崎第9合唱団のものだと知った時の喜び! さっそく夫に「ねえ、こんな幸運又とないわ、入っていい?」と伺いを立てたのに、彼の耳はイカレていたのか回答なし。あゝ残念、聞こえない時はNO!のしるし。これまでの体験と悟っていた私はその年はゴリ押しはせず、ひそかに来年を期したのでした。

そして6月、今度は黙って入会。何週間かした後、夫が「第9に入ったんだってね」と笑顔で言うではありませんか。どこから聞いたのかしらんと不思議に思っておりしたら、勤め先に、ソプラノの上原さんのお父様がいらしたということでした。以来毎回、気持ちよく練習に参加させていただくことが出来ました。

9、10月頃までは、ドイツ語がつかえて苦勞しましたが、リーダーの方々、先輩、そして廻りの皆様に励げまされ、支えられて念願の12月24日にはカー杯歌うことが出来ました。感謝です。

'89のドイツ公演、がんばって下さい。大好きな鳥川も、榛名も、浅間も見えない東京より御成功を祈っております。さようなら 高崎第9のみなさん!!

※ 相沢さんはご主人の転勤に伴って転居され、今回の練習を最後に高崎を去られます。文面の様子からは、ふるさと?の東京へ戻られるようですが、新幹線では1時間の巨離です。12月10日の今年の演奏会には是非必死込みで歌いに来て下さい。カットは少々メラニコリックな感じですが、別居の悲しみではなく、未来の幸せの歡喜の涙と思って下さい。編集子



アンケート 中間報告

68% が参加希望

ドイツ公演 目標に向って条件作り

高崎第9合唱団が「15周年記念イベント」として「ドイツで歌うオラ」を目指してから3年目。漸くその実現へ向っての具体的なアクションが始まりました。既に皆さんのお手元にアンケートの往復はがきが届いている筈ですが、現在までに回答を頂いているのは全団員の約半数です。まだ復信を出していない方は至急、回答をお寄せ下さい。このアンケートは団員の希望の動向調査ですので、これらの結果を勘案しながら、実施についてキメ細かなプラン作りに役立てたいと考えています。

現在までの回答から、とりあえず中間集計による動向は次のとおりです。

1. 参加の状況については、しない 32%、する、条件によってと答えた方が68%で大多数の方が参加したいという意志を持っていることがわかります。この条件によってという回答はほとんどが実施の時期と渡欧の期間と関連しています。
2. 実施時期と期間について 6月中旬、10月、11月の順で、期間は7日間が最も多く、社会人として、長期間の休みが取れない現実の厳しさが浮きぼりにされています。また5月連休を望む声も意外と多く、(この季節はヨーロッパの観光シーズンなので旅費が割高になります。)計画に際しては一考を要する必要があると思います。
3. 費用の負担についてはそれぞれが何らかの準備を始めている方が多いようです。ただ学生の諸君にとっては、家庭の理解が得られないと仲々むずかしいかも知れません。
4. オフションの希望は花のバリエーションが一位、ローマ、ロンドンがその次で、チューリッヒ(スイス)のほかザルツブルグなどもありました。7日間の日程とすればウィーンなどにそのまゝ滞在している方がゆったりとしているかも知れません。
5. 同行者の有無については、今のところ15名の方が一緒にいきたいという希望を表明しています。
6. そのほか、意見としては最低催行人員はどの位かとか夢の実現を是非、出来るだけ沢山の人が参加出来るように、連休を組み込んだ日程に、等が主なものでした。いずれにしてもこれらの声を基調にこれからのプランをねり上げ、音楽の国際交流に向って駒を進めたいと思います。

次の練習日は4月21日
本年度の最終回です。
5月19日は1988総会

おそばのように長く続けたい第九

〈ソプラノ〉 淡島チエ子

私が高崎「角島」へ嫁いで25年になります。その何年か前頃はまだテレビのある家は少なく、高崎でも2番目ぐらいだったそうです。その時代はプロレス時代でおすいとの食券を買って力道山のプロレスを見に来るお客様で、2階が落ちてくるんじゃないかと心配するくらい、人が入ったそうです。(今の若い人はおすいとかおつきり込みなんて知っているかな)、今はその名残も少なく、この辺(四ッ屋町)は人影も少なく、一日中車ばかり走っています。今は時代も変り、新人類なんていわれ、「そば屋」などはふり向かれなくなりました。町のところどころにはファミリーレストラン、居酒屋などが、若い人たちに人気があるようになってきました。そば屋のいいところも若い人たちに知ってもらわなければ……とに残されちゃう……。

それはさておき、第九すばらしいですね。入団していろいろな人とめぐり逢い、話し、聞き、今まで仕事しか考えず、これから一日増しに年をとっていくのかなーと思っていた私に、希望をあててくれました。

主人などは初め、ソバ屋の女房がそんなレベルの高い第九なんていくことはないと言っていたが、私の生き生きした顔を見ていると、それが仕事につながる人ならとあきらめたのか、あまり云わなくなりました。

今はコーラスへ出かける時は、お前の顔つきが違ってくると嫌味をいわれます。それほど楽しい顔をしているんでしょうね。子供、孫連も木曜日になると「バ、Dine Zaubelへ行くん? 行ってらっしゃい。」と云ってくれます。今最高に幸せです。

第九に入って三年目になります。又今年も歌えるかな、それにはみんな家族の協力がなければ続けられません。それなりに主人や娘、息子達につくしてやらなければ、がんばるぞ!!

第九の皆様、こちらの方へお出掛けの折には、八十二銀行のそばの「そばの角島」へお立寄り下さい。無料とはいきませんが、おもてなしいたします。デパートへお出掛けの際は、高崎高島屋地下一階のうどんコーナー 角島へ是非どうぞ。さあ、これから第九へ行くためにしっかりとしていかななくては……。今後共よろしく願います。

天田美佐子 RECITAL
メゾ・ソプラノ
日本の詩の夕べ ピアノ 塚田 佳男

1988 4・18 PM 7:00

高崎市文化会館

¥2,000- 0273-22-8075林





1988 総会は 5月19日(木) Pm.6:30

みんなで盛り上げよう ミニコンサート

新団員の受付も開始!

'87年度の練習日程も今日で終り、5月の総会を境に15年目のオ9がスタートする運びになります。先生や団員によるミニコンサートも総会に花を添えるセレモニーとして定着してきました。5月19日(木)PM6:30には新しい友人を連れて総会をみんなの力で盛り上げましょう。

この一年

事務局長 上野道昭

昨年5月21日総会、そして6月4日、「フロイデ」の発声からベートーヴェン第9交響曲第4楽章歓喜の合唱を半年余りかけて作り上げる為の練習が始まってあつと云う間の1年。晴れたる青空……で歌われるこの合唱は今や小学生でも口ずさむ親

しまれたメロディーです。そして多くの人達が一度は歌ってみたいと思う憧れのうたでもあります。

この演奏会が高崎で続けられ早くも14年の歴史が作られました。地方文化の時代と云われてはいますが、今再び文化とは何かが問われています。

3S(スピード、スリル、サイエンス)時代と云われるように毎日が競争に明け暮れ、個人の生活はこの次の取組環境の中で人の心は益々失われていきます。こういった社会の動きは私たちオ9合唱団の人員構成からもうながい知ることが出来ます。そんな中で15分余りの合唱に情熱を傾け、ベートーヴェンの生涯を集大成させたこのオ9を歌い上げる作業が毎年積み重ねられている訳なのです。それは指導者と団員の連帯感の一体化であり、私たちがどれだけベートーヴェンの崇高さに近づけるかという大きな希望と課題に対する挑戦でもあると思います。

6月の発声から真夏の蒸し風呂練習、吐く息も白い暮れ寒さの中での練習、そして本番へと、この半年間は、歌う本人はもとより家族の応援もあったればこそ成功の感動も大きかった事と思います。

苦しみから喜びが生まれる——私たちは合唱を通して、実感できる場を持っていることを心の支えとし、喜びとしてひそかに自惚れ、相当の自信を持って多くの人に呼びかけましょう。

今年は15周年を迎えます。はるかなドイツで歌おうという希望に向つての討議もスタートしました。広い宇宙に向けた心の叫びを実現させる為、それそれ協力できる、そしてそれを支える多くの力があるということこそが真の文化ではないかと思ひます。

音楽文化とのなかり

〈事務局次長〉 松本 茂晴

3月の末日の朝日新聞の社説に大阪フィルの窮状とそれととりまく今日の日本における文化のあり方が論じられていた。あの大都市大阪でさえも困難を極めているオーケストラの運営について考えるとき、この小さな地方都市に過ぎない高崎におけるそれは、更に厳しいものになっていることは明白である。

しかし事は単にオーケストラの存続とみの問題ではなく、日本の行政の文化に対する姿勢がたまたまオーケストラという形を借りて出て来たにすぎず、様々な分野でそういった事象は起きていると思う。

私たちの続けている、ささやかな第9の活動は、ぎりぎりのところでそういったものにかかわっていることを考えると、「たなか合唱、されど合唱」ということになってくるのではない。'87年から'88年に向けて、単に第9合唱から一歩踏みこんだ関わり方を考えてみたいと思う。



歌のひろば

思 いなえすと早いもので、毎年暮に第9を

歌いはじめて15年目を迎えました。15年前の合唱団発足の1年間にわたる準備期間のさま

ざまな出来事もなつかしく思い出しますし、毎年続く厳しいレッスンのプログラムもそれ以来引きつがれて居ります。“高崎でベートーヴェンの第9の演奏会を開きたい。”ただそれだけの目的のために延2,000名を超える団員と、延20,000名を超える聴衆が心を一つにして力を出し合うことが出来たのは素晴らしいことだと思います。

1年目の演奏会が終わったとき、感激と興奮の中で心に誓って皆で話し合ったことがあります。それは……① 毎年暮にオ9を歌うことを、高崎の年中行事にしたい。

② 10年後にNHK交響楽団と第9演奏会をやりたい。

③ 音楽センターを満席にして立見が出るような演奏会を開きたい。

④ ヨーロッパの一流オーケストラと第9をしたい。……というものでした。

毎年たゆみなく歌い続ける中で、15年前の目標は一つづつクリアして来ましたが、残されたヨーロッパのオーケストラとの共演を力を合わせて成功させたいものだと思います。

ベートーヴェンという系で結ばれた沢山の仲間と第9を歌いつづけることで、高崎第9合唱団の歴史が1年1年、年輪を重ねるように大きくひろがって行くのです。1988年度もこの輪が更に大きくなるよう、みんなの力を合せてがんばりましょう。

ソプラノとフルートの夕べ

ソプラノ：中山あづさ

フルート：永井 幸子

ピアノ：山田 武彦

'88. 5. 7. (土) Pm 6:30

全自由席 ￥1,000

富岡市中央公民館ホール